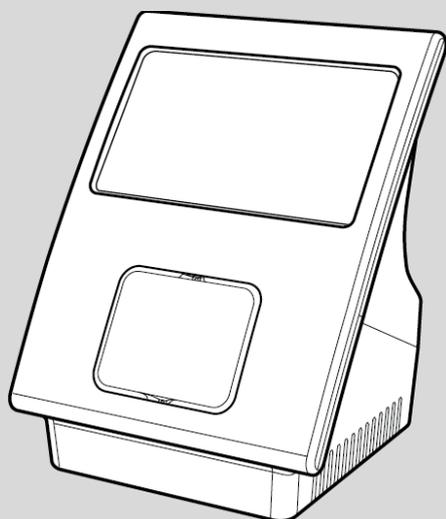




設定ガイド

Version 5.13



もくじ

1. 必ずお読みください	4
2. はじめに	5
3. Web ブラウザからの設定	6
3.1. 設定方法	6
3.2. 端末設定	8
3.3. LAN ポート設定	9
3.4. 通信モジュール設定	11
3.5. 無線 LAN モジュール設定	12
3.6. プロキシ設定	15
3.7. 時刻設定	16
3.8. ハートビート設定	18
3.9. 端末情報表示	19
3.10. コンテンツセット	20
3.11. NFC Type-B 設定	22
3.12. 一括設定	24
3.13. クリア・初期化	25
3.14. ファームウェア更新	26
3.15. 設定パスワード変更	28
3.16. イベント・サポートログ	29
3.17. 再起動・シャットダウン	30
4. 本体からの設定	31
4.1. 設定方法	31
4.2. 端末情報表示	34
4.3. 端末設定	35
4.4. 音量設定 - 端末設定	36
4.5. 明るさ設定 - 端末設定	37
4.6. ネットワーク設定 - 端末設定	38
4.6.1. LANポート設定	38
4.6.2. 通信モジュール設定	40
4.6.3. 無線LANモジュール設定	41
4.6.4. プロキシ設定	46
4.6.5. NTPサーバ設定	48
4.6.6. ハートビート設定	49

4.7. 時刻設定 - 端末設定	50
4.7.1. NTPサーバ同期	50
4.7.2. 手動設定	50
4.8. ログ - 端末設定	51
4.8.1. サポートログ(USB)	51
4.8.2. サポートログ(Bluetooth)	51
4.8.3. すべてのログ(USB)	52
4.9. メンテナンス - 端末設定	54
4.9.1. 設定バックアップ	54
4.9.2. 設定復元	55
4.9.3. 端末初期化	56
4.10. Bluetooth - 端末設定	57
4.10.1. ペアリング	57
4.10.2. ペアリング情報削除	58
4.11. 更新	59
4.11.1. ファームウェア更新	59
4.11.2. コンテンツセット更新	60
4.11.3. ファームウェア更新 (USB)	62
4.11.4. 自動更新設定	63
4.12. 再起動	64
4.13. シャットダウン	65
5. 一括設定	66
5.1. ファイルの記述方法	66
5.2. 設定値一覧	66
6. プロバイダ設定ファイル	72
7. ネットワーク	73
7.1. インターフェースの優先順位	73
7.2. プロキシ	73
7.3. 使用されるDNSの優先順位	73
7.4. IPv4とIPv6の混在環境	74
8. USB	75
8.1. 内部USBポート	75
8.1.1. 接続可否検証済の通信モジュール	75
8.1.2. 接続可否検証済み無線LANモジュール	76

8.2. USBポート	77
8.2.1. 動作確認済のESC/POS準拠USBレシートプリンタ	77
8.2.2. その他のUSB機器	77
9. ハートビート通信	78
10. Bluetoothによるサポートログ取得	79
10.1. ピットタッチ・プロ3アプリのインストール	79
10.2. ペアリング	80
10.3. サポートログの取得	82
10.4. サポートログの送信	85
11. ファームウェア/コンテンツセットの自動更新	87
12. FAQ	88

1. 必ずお読みください

本書中のマークの説明

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



本製品をお使いいただくうえで重要な事項を記載しています。

MEMO

操作の参考となる情報や、補足説明を記載しています。

ご利用にあたってのお願い

注意

電源をOFFにするときは、本製品の機能選択画面またはWeb設定ページからシャットダウンを行ってください。動作中にACアダプタを抜いたり、いきなり電源をOFFにすると、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に電源ボタンを10秒以上続けて押さないでください。

- ・コンテンツセットの更新中
- ・ファームウェアの更新中
- ・プロバイダ設定ファイルの更新中
- ・本製品の再起動中
- ・本製品のシャットダウン中
- ・一括設定の更新中

■設定ガイドの内容について

本書では「ピットタッチ・プロ3」の設定方法を説明しています。
製品仕様については、本製品に付属の取扱説明書をご参照ください。



本書は本製品のファームウェア Version 5.13 以降を対象として記述されています。ご利用の際は、本製品のファームウェアバージョンをご確認ください。ファームウェアバージョンは、本体の端末情報表示画面、または Web 設定ページで確認できます。

■商標などについてのお知らせ

「ピットタッチ」「ピットタッチ・プロ」および PitTouch ロゴは、株式会社スマート・ソリューション・テクノロジーの登録商標です。

JavaScript は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Bluetooth は Bluetooth SIG Inc. の所有している登録商標です。

その他の商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中に TM マーク、® マークは明記していません。

2. はじめに

本製品は、コンテンツセット開発者が作成した画面プログラム（以下、コンテンツセット）をWebブラウザベースの実行環境に読み込ませることにより、ユーザーインターフェース・通信・非接触 IC等を動作させることができます。

本製品の動作のサポートは、正規のコンテンツセット開発者が作成したコンテンツセットが入った状態のみに限らせていただきます。

コンテンツセットの動作および更新についての詳細は、販売元へお問い合わせください。

本製品の設定方法

本製品の設定は、以下の2通りの方法で行えます。

- ・ パソコンの Web ブラウザから Web 設定ページにアクセスして行う → 「[3. Web ブラウザからの設定](#)」
- ・ 本体の液晶タッチパネルから行う → 「[4. 本体からの設定](#)」

ほとんどの設定・操作はWeb設定ページと本体の液晶タッチパネルどちらからでも行えますが、一部Web設定ページからのみ行えるもの、本体の液晶タッチパネルからのみ行えるものがあります。

■Web設定ページからのみ可能なこと

- ・ コンテンツセットをファイルから更新
- ・ プロバイダ設定ファイル更新
- ・ NFC Type-B設定
- ・ 一括設定
- ・ 設定初期化
- ・ 設定パスワード変更
- ・ イベントログ表示
- ・ コンソールログ表示・削除

■本体からのみ可能なこと

- ・ 無線LAN設定でのアクセスポイント一覧からの設定
- ・ Bluetoothペアリング／Bluetoothペアリング情報削除／Bluetoothでのログ取得
- ・ USBメモリへのログの保存
- ・ USBメモリへの設定のバックアップ・USBメモリからの設定の復元
- ・ ファームウェア・コンテンツセットの更新の有無チェック
- ・ 端末初期化

3. Web ブラウザからの設定

Web ブラウザから Web 設定ページにアクセスし、本製品の設定を行います。Web 設定ページにアクセスするには、設定パスワードの入力が必要です。

対応 OS、ブラウザについて

OS:Windows 11 Pro、ブラウザ:Google Chromeのマニュアル発行日時点での最新版の組み合わせで動作確認をしています。その他の組み合わせについては動作の保証ができませんので、ご了承ください。

設定ページでは、JavaScriptを使用しています。設定の際は、ブラウザの JavaScript 機能を ON にしてください。



通信モジュールをご利用の場合、通信網から Web 設定ページへのアクセスはできません。Web 設定ページは LAN 接続または無線 LAN 接続にてご利用ください。

3.1. 設定方法

本製品を Web ブラウザから設定するには、以下の手順で操作します。

1. 本製品の電源をONにします。
2. 本製品の IP アドレスを確認します。
本体から確認するには、本製品が利用可能状態になった後に電源ボタンを2秒以上押して機能選択画面を表示し「[4.2. 端末情報表示](#)」からIPアドレスを確認できます。
3. 本製品と通信ができるように、パソコンのネットワークの設定を行います。
4. パソコンの Web ブラウザを起動し、URL の入力欄に手順 1 で確認した IP アドレスを入力します。
5. ログインダイアログが表示されます。[ユーザー名]に「admin」、[パスワード]に設定パスワードを入力します。



勤怠パッケージ／交通費精算パッケージ／tm交通費精算パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ
工場出荷時に設定されている設定パスワードは「0000」です。

その他のコンテンツセットをお使いの方へ
コンテンツセットによっては初期値が異なる場合があります。不明な場合は販売店へお問い合わせください。



お客様が設定された設定パスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。設定パスワードを忘れてしまった場合は設定パスワードの変更もクリアもできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。

勤怠パッケージ／交通費精算パッケージ／tm交通費精算パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ
万一忘れてしまった場合は「[4.9.3. 端末初期化](#)」をご確認ください。

その他のコンテンツセットをお使いの方へ
コンテンツセットによってはパスワードのクリア機能が用意されている場合があります。詳しくは販売元へお問い合わせください。用意されていない場合は、「[4.9.3. 端末初期化](#)」をご確認ください。

MEMO

勤怠パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ
設定パスワードは、勤怠パッケージ／登降園パッケージ管理画面の管理者パスワードとは異なります。

6. Web 設定ページが開きます。

端末設定
端末の設定を行います。

[音量設定]

本体音量	3	本体の音量を設定します。
キーボード操作音	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF	キーボードの操作音を設定します。

[明るさ設定]

明るさ	3	画面の明るさを設定します。
-----	---	---------------

[自動更新設定]

ファームウェア自動更新	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない	「する」に設定すると、再起動、シャットダウン時にファームウェアの自動更新を行います。
コンテンツセット自動更新	<input type="radio"/> する <input checked="" type="radio"/> しない	「する」に設定すると、再起動、シャットダウン時にコンテンツセットの自動更新を行います。

以降、左側のメニューから目的の機能を選択して設定を行います。

3.2. 端末設定

音量と液晶タッチパネルの画面の明るさ、自動更新機能に関して設定できます。

[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。ただし、再生中の音声の音量は変更されません。



▼音量設定

本体音量	本体の音量を設定します。
キーボード操作音	キーボード(別売)の操作音のON/OFFを設定します。なおON にすると有効ではないキーが押されたときも音が鳴ります。

▼明るさ設定

明るさ	液晶タッチパネルの画面の明るさを設定します。
-----	------------------------

▼自動更新設定

ファームウェア自動更新	「する」を選択した場合、再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。 自動更新サーバについて詳しくは、販売元へお問い合わせください。
コンテンツセット自動更新	「する」を選択した場合、再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。 自動更新サーバについて詳しくは、販売元へお問い合わせください。

3.3. LAN ポート設定

LAN ポートに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。

The screenshot shows the 'LANポート設定' (LAN Port Settings) screen. It is divided into two main sections: IPv4 and IPv6 settings. The IPv4 section has a '設定' (Settings) button at the top. Below it, there are radio buttons for '自動' (Automatic) and '手動' (Manual). The IPv4 address acquisition method is set to '手動'. The IPv4 address is 192.168.1.2, the subnet mask is 255.255.255.0, and the gateway is 192.168.1.1. The IPv6 section also has a '設定' button and radio buttons for '自動' and '手動'. The IPv6 address acquisition method is set to '自動'.

[IPv4アドレス設定]		
IPv4アドレス取得方法	<input type="radio"/> 自動 <input checked="" type="radio"/> 手動	DHCPを使用する場合は自動を選択します。固定のアドレスを使用する場合は手動を選択します。
IPv4アドレス	<input type="text" value="192.168.1.2"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、IPv4アドレスを入力します。
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、サブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	<input type="text" value="192.168.1.1"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、ゲートウェイアドレスを入力します。
プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、プライマリDNSサーバアドレスを入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、セカンダリDNSサーバアドレスを入力します。
[IPv6アドレス設定]		
IPv6アドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動	自動設定を使用する場合は自動を選択します。固定のアドレスを使用する場合は手動を選択します。
IPv6アドレス	<input type="text"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、IPv6アドレスを入力します。
プレフィックス長	<input type="text" value="64"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、プレフィックス長を入力します。
ゲートウェイアドレス	<input type="text"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、ゲートウェイアドレスを入力します。
プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、プライマリDNSサーバアドレスを入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、セカンダリDNSサーバアドレスを入力します。

▼IPv4 アドレス設定

IPv4 アドレス取得方法	IPv4 アドレスを「自動」「手動」から選択します。固定のアドレスを使用する場合は、「手動」を選択します。
IPv4 アドレス	IPv4 アドレスを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
プライマリDNSサーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されます。

セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
-----------------	---

▼IPv6 アドレス設定

IPv6 アドレス取得方法	IPv6 アドレスを「自動」「手動」から選択します。固定のアドレスを使用する場合は「手動」を選択します。
---------------	--

IPv6 アドレス	IPv6 アドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
-----------	--

プレフィックス長	IPv6 アドレスのプレフィックス長を入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
----------	---

ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
------------	---

プライマリDNSサーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
-----------------	---

セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
-----------------	---

MEMO

DNSサーバは、自動で取得したアドレスが優先して使用されます。詳細は[7.3. 使用されるDNSの優先順位](#)を参照してください。

3.4. 通信モジュール設定

通信モジュールに関して設定できます。「設定」ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。

通信モジュール設定		
通信モジュール	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する	通信モジュールを使用するかどうかを設定します。
電話番号	<input type="text"/>	接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	<input type="text"/>	接続に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する	接続に使用するパスワードを設定します。 パスワードを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。
ATコマンド	<input type="text"/>	通信モジュール初期化時に実行するATコマンドを設定します。ATから始まるコマンドを入力してください。

▼通信モジュール設定

通信モジュール	通信モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、常時接続になります。 通信データサイズが大きくなる場合がありますので、パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。
電話番号	接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	接続に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	接続に使用するパスワードを設定します。変更する場合は「変更する」を選択します。 ※すでにパスワードが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
AT コマンド	通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。通信モジュール使用の際に指定がなければ、特に設定する必要はありません。

MEMO

通信モジュール設定で設定する電話番号は、通信モジュールの電話番号ではありません。
利用する通信モジュールのご契約プランの接続先電話番号になります。一般的には、「*99#」や「*99***1#」のような形式になります。
ご不明な場合は、利用する通信モジュールのご契約先にお問い合わせください。
対応機種については、「[8.1.1. 動作確認済の通信モジュール](#)」をご覧ください。

3.5. 無線 LAN モジュール設定

無線 LAN モジュールに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。通信中の場合は、その通信は破棄されます。

無線LANモジュール設定

無線LANモジュールに関する設定を行います。

【無線LANモジュール設定】		
無線LANモジュール	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する	無線LANモジュールを使用するかどうかを設定します。
SSID	<input type="text"/>	SSIDを設定します。
【セキュリティ設定】		
認証・暗号化	<input type="text" value="使わない"/>	認証・暗号化方式を設定します。
【WEP設定】		
WEPキー	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text"/>	認証・暗号化がWEPの場合、使用するWEPキーを設定します。 WEPキーを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。
【WPA/WPA2/パーソナル設定】		
WPA共有キー	<input checked="" type="radio"/> 変更しない <input type="radio"/> 変更する <input type="text"/>	認証・暗号化がWPAパーソナルまたはWPA2パーソナルの場合、使用するWPA共有キーを設定します。 WPA共有キーを変更する際は、必ず「変更する」を選択してください。
【IPv4アドレス設定】		
IPv4アドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動	DHCPを使用する場合は自動を選択します。固定のアドレスを使用する場合は手動を選択します。
IPv4アドレス	<input type="text"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、IPv4アドレスを入力します。
サブネットマスク	<input type="text"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、サブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	<input type="text"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、ゲートウェイアドレスを入力します。
プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、プライマリDNSサーバアドレスを入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPv4アドレスの取得方法が手動の場合、セカンダリDNSサーバアドレスを入力します。
【IPv6アドレス設定】		
IPv6アドレス取得方法	<input checked="" type="radio"/> 自動 <input type="radio"/> 手動	自動設定を使用する場合は自動を選択します。固定のアドレスを使用する場合は手動を選択します。
IPv6アドレス	<input type="text"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、IPv6アドレスを入力します。
プレフィックス長	<input type="text" value="64"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、プレフィックス長を入力します。
ゲートウェイアドレス	<input type="text"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、ゲートウェイアドレスを入力します。
プライマリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、プライマリDNSサーバアドレスを入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	<input type="text"/>	IPv6アドレスの取得方法が手動の場合、セカンダリDNSサーバアドレスを入力します。
【その他】		
自動再接続機能	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する	一定時間接続が不安定な状態が続くと、無線LANモジュールを強制リセットする機能です。接続が不安定な場合に使用してください。場合によっては逆に不安定になることもあります。

▼無線 LAN モジュール設定

無線 LAN モジュール

無線 LAN モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。

SSID	無線アクセスポイントに設定されている SSID を、32 文字以内の半角英数字・記号で設定します。
------	---

▼セキュリティ設定

認証・暗号化	認証・暗号化の方式をプルダウンメニューから選択します。
使わない	認証も暗号化も使用しません。
WEP	認証方式は Open System、暗号化方式は WEP を使用します。
WPA パーソナル	認証方式は PSK(Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES(無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別)を使用します。
WPA2 パーソナル	認証方式は PSK(Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES(無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別)を使用します。



WEP 暗号化で Shared Key 認証を行うことはできません。WEP を使用する場合は接続先のアクセスポイントの設定で Open System 認証を許可するように設定してください。

▼WEP 設定

WEP キー	<p>[セキュリティ設定] の [認証・暗号化] で「WEP」を選択した場合に、WEP キーを設定します。変更するときは「変更する」を選択し、5 文字か 13 文字の半角英数字・記号、または 10 桁か 26 桁の 16 進数を入力します。「WEP」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、「WEP」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。</p> <p>※すでに WEP キーが設定されていても、入力欄には何も表示されません。</p>
--------	--

▼WPA/WPA2 パーソナル設定

WPA 共有キー	<p>[セキュリティ設定] の [認証・暗号化] で「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」を選択した場合に、WPA 共有キーを設定します。変更するときは「変更する」を選択し、8～63 文字の半角英数字・記号、または 64 桁の 16 進数を入力します。「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。</p> <p>※すでに WPA 共有キーが設定されていても、入力欄には何も表示されません。</p>
----------	--

▼IPv4 アドレス設定 ※無線 LAN モジュールを使用する場合の IP アドレス設定です

IPv4 アドレス取得方法	IPv4 アドレスを「自動」「手動」から選択します。固定のアドレスを使用する場合は、「手動」を選択します。
IPv4 アドレス	IPv4 アドレスを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。

サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
プライマリDNSサーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。

▼IPv6 アドレス設定 ※無線 LAN モジュールを使用する場合の IP アドレス設定です

IPv6 アドレス取得方法	IPv6 アドレスを「自動」「手動」から選択します。固定のアドレスを使用する場合は「手動」を選択します。
IPv6 アドレス	IPv6 アドレスを入力します。[IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
プレフィックス長	IPv6 アドレスのプレフィックス長を入力します。[IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。[IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
プライマリDNSサーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IPv6 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IPv6 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。

▼その他

自動再接続機能	一定時間接続が不安定な状態が続くと、無線LANモジュールを強制リセットする機能です。接続が不安定な場合に使用してください。場合によっては逆に不安定になることもあります。
---------	--

MEMO

対応機種については、「[8.1.2. 動作確認済の無線LANモジュール](#)」をご覧ください。

MEMO

DNSサーバは、自動で取得したアドレスが優先して使用されます。詳細は[7.3. 使用されるDNSの優先順位](#)を参照してください。

3.6. プロキシ設定

プロキシに関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。



▼ HTTP プロキシ設定

プロキシ機能	プロキシを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、コンテンツセットや各種自動更新時に行う通信がインターフェースに関わらずプロキシ経由となります。
サーバ名	[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
ポート番号	[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのポート番号を設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
認証ユーザ名	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するユーザ名を設定します。
認証パスワード	プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するパスワードを設定します。変更するときは「変更する」を選択します。 ※すでに認証パスワードが設定されていても、入力欄には何も表示されません。

MEMO

- プロキシサーバを経由してHTTPS通信(CONNECTメソッド)を行うことはできませんが、プロキシサーバ自体との通信はHTTPのみでHTTPSでは接続できません。
- プロキシサーバとの認証は、BASIC 認証、DIGEST 認証をサポートしています。その他の認証は、サポートしていません。
- 認証ユーザ名で「ドメイン\ユーザ名」の形式は、サポートしていません。
- プロキシ自動設定ファイル(PAC ファイル)は、サポートしていません。

3.7. 時刻設定

時刻に関して設定できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

The screenshot shows the '時刻設定' (Time Setting) page in the PiTouch Pro3 interface. The page is divided into three main sections: [自動時刻合わせ設定] (Automatic Time Synchronization Setting), [手動時刻設定] (Manual Time Setting), and [パソコンの時刻から設定] (Setting from PC Time). The left sidebar contains navigation options like '設定' (Settings), '情報表示' (Information Display), and 'メンテナンス' (Maintenance). The main content area includes input fields for NTP server name, time correction interval, current time, manual time, and PC time, each with a '設定' (Set) button. Explanatory text is provided for each field.

▼自動時刻合わせ設定

NTP サーバ名 NTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。この項目を設定すると、設定後または起動後に NTP サーバに接続し、時刻が設定されます。

時刻修正間隔 時刻修正間隔を秒数で指定します。

MEMO

NTP サーバによる時刻合わせが成功すると、次の時刻合わせは、時刻修正間隔で指定した秒数後になります。失敗すると、1分、3分、5分、10分、30分、60分、以降60分の間隔で時刻合わせを試みます。通信モジュールや無線 LAN モジュールでネットワークを利用している場合、起動直後は NTP サーバに接続できないことがあります。

▼手動時刻設定

現在時刻 現在設定されている時刻が表示されます。(このページを開いた時点の時刻が表示され、更新されません。)

手動設定 「年/月/日 時:分:秒(YYYY/MM/DD hh:mm:ss)」の形式で時刻を入力します。設定できる範囲は、2010年1月1日0時0分0秒(2010/01/01 00:00:00)から2037年12月31日23時59分59秒(2037/12/31 23:59:59)までです。

▼パソコンの時刻から設定

パソコンの時刻から設定 使用している Web ブラウザの JavaScript が ON の場合、パソコンの時刻が表示されます。



本製品の時刻情報の初期値は「2010/1/1 09:00:00」です。

3.8. ハートビート設定

ハートビートに関する設定を行います。



▼ハートビート設定

ハートビート機能 ハートビート機能を使用する場合は「使用する」を選択します。

URL ハートビート機能に使用する URL を設定します。

通信間隔 ハートビート通信の通信間隔を秒数で指定します。

3.9. 端末情報表示

端末、ネットワーク、HTTP プロキシに関する内容を確認できます。

端末情報表示

[端末情報]	
端末ID	XXXXXXXX
MACアドレス	XXXX.XXXX.XXXX
MACアドレス(無線LAN)	
ファームウェアバージョン	X.XXrXXXXX
ベンダーID	XXXXXXXX
コンテンツセットバージョン	XXXXX

[ネットワーク情報]	
インターフェース	LAN
IPv4アドレス取得方法	手動
IPv4アドレス	192.168.1.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.1
IPv6アドレス取得方法	自動
IPv6アドレス	-
プレフィックス長	-
ゲートウェイアドレス	-
現在使用中のDNS1	-
現在使用中のDNS2	-
現在使用中のDNS3	-

[HTTP プロキシ設定]	
プロキシ機能	使用しない
サーバ名	
ポート番号	
認証ユーザ名	

※プロキシ設定の認証パスワードは表示されません。

3.10. コンテンツセット

コンテンツセットの更新、プロバイダ設定ファイルの更新、コンソールログの表示と削除ができます。



コンテンツセット、プロバイダ設定ファイルの更新は、販売元の指示に従って行ってください。

インストール済みのコンテンツセットとは別のコンテンツセットへの更新は絶対にしないでください。（例：**×**勤怠パッケージから交通費精算パッケージへの更新など）

別のコンテンツセットに更新してしまうと、あらかじめインストールされていたコンテンツセットの機能が使えなくなります。

万一更新してしまった場合は、販売元へご連絡ください。有償にてコンテンツセットの再インストールを承ります。

▼更新

コンテンツセット コンテンツセットの更新を行います。[参照] ボタンを押してコンテンツセットを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。

プロバイダ設定ファイル プロバイダ設定ファイルの更新を行います。[参照] ボタンを押してプロバイダ設定ファイルを選択し、[更新] ボタンを押して更新を実行します。



更新中は、[更新] ボタンを何度も押したり、他の操作を行わないでください。

また、コンテンツセット、プロバイダ設定ファイルの更新を行っても、設定値などはクリアされません。クリアしたい場合は、手動で設定初期化を行います。→「[3.13. クリア・初期化](#)」



コンテンツセットの更新中、プロバイダ設定ファイルの更新中に、電源ボタンを 10 秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源が OFF になり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中に AC アダプタを抜かないでください。



以下の事象が発生する可能性がありますので、運用中はコンテンツセットを更新しないことをお勧めします。

- コンテンツセットのパフォーマンスが大幅に低下する
- 操作中の動作がクリアされる
- コンテンツセットが扱うデータに不整合が発生する

▼コンソールログ

コンテンツセットから出力したログが表示されます。一番下が新しいログです。

[更新] ボタンを押すとログが更新されます。[削除] ボタンを押すとログが削除されます。

コンソールログは、設定初期化を行っても削除されません。

また、ログが一定量に達すると、新しいログを記録するために古いログが削除されます。

MEMO

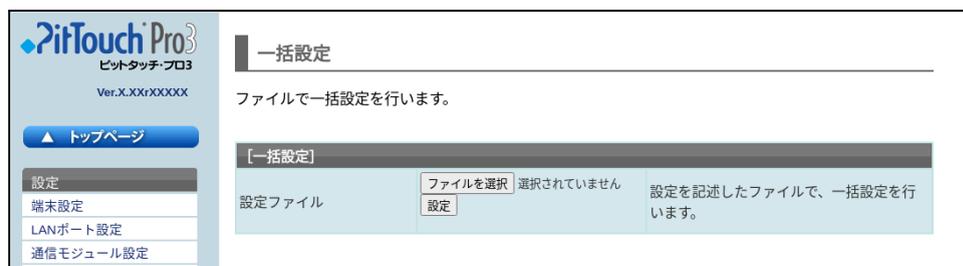
コンソールログの末尾には「http://localhost/s.js:8」のようにコンテンツセット内のファイルと行番号を示す文字列が自動で付加されます。

▼暗号化設定

鍵1	暗号化に使用する鍵 1 を変更します。
鍵2	暗号化に使用する鍵 2 を変更します。
鍵バージョン	現在設定されている鍵バージョンの値です。
値の変更	鍵バージョンの値を変更します。

3.12. 一括設定

各種設定値が記載されたファイルを使って設定を一括で変更することが可能です。詳細は「[5. 一括設定](#)」を参照してください。



▼一括設定

設定ファイル

設定を記述したファイルで、一括設定を行います。

3.13. クリア・初期化

設定の初期化を行えます。



▼設定初期化

設定初期化 [設定初期化] ボタンを押すと、確認後に設定の初期化が行われます。

設定初期化に成功すると、本体の画面がコンテンツセットスタートページへ遷移します。

初期化される項目は、以下のとおりです。

- ・ 各設定値 (設定パスワードも含む)
- ・ コンテンツセットで使用しているデータベース

MEMO

コンテンツセットやプロバイダ設定ファイルはそのまま残ります。



重要

設定初期化を行うと、元には戻せません。ネットワーク設定も初期化されるので、Web 設定ページに接続できなくなることがあります。また、設定パスワードも初期化されますのでご注意ください。



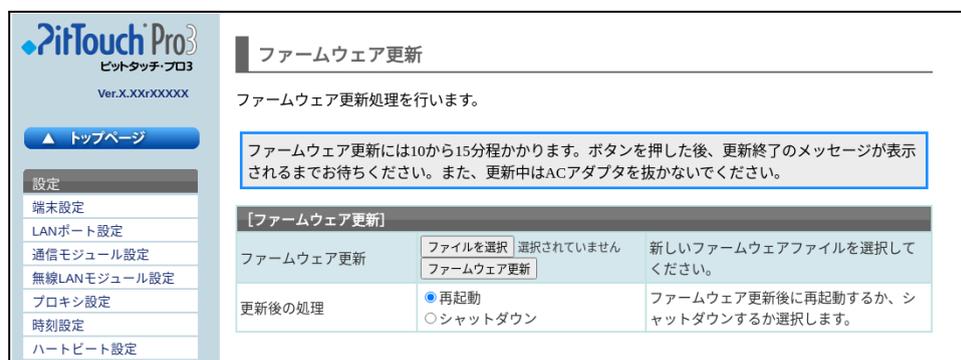
重要

勤怠パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ

- ・ 未送信データを含む検出ログがすべて削除されます。未送信データを再送する必要がある場合は、設定初期化を行わないでください。
- ・ カード登録情報がすべて削除されます。あらかじめ USB メモリへファイル出力しておくことをお勧めします。

3.14. ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新できます。



▼暗号化設定

ファームウェア更新 ファームウェアの更新を行います。[参照] ボタンを押してファームウェアファイルを選択し、[ファームウェア更新] ボタンを押して更新を実行します。

更新後の処理 ファームウェア更新が成功した後の動作を選択します。

ファームウェアの更新が開始されると、液晶タッチパネルには更新中である旨メッセージが表示されます。コンテンツセット動作は強制的に中断されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。更新に成功すると、[更新後の処理] の設定内容にしたがって再起動またはシャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。



重要

更新中は、[ファームウェア更新] ボタンを何度も押したり、他の操作を行わないでください。

ファームウェアの更新によって、使用している設定値やコンテンツセットなどはクリアされません。クリアしたい場合は、手動で設定初期化を行います。→「[3.13. クリア・初期化](#)」



重要

ファームウェアの更新を開始すると本体の画面が更新中のメッセージに強制的に変わります。コンテンツセット操作中の場合は動作がクリアされてしまうため、操作をしていないときにファームウェアを更新することをお勧めします。



重要

ファームウェアの更新中に、電源ボタンを10秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源がOFFになり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中にACアダプタを抜かないでください。



重要

ファームウェアの更新には10～15分程度かかります。[ファームウェア更新] ボタンを押した後、更新終了のメッセージが表示されるまでお待ちください。

3.15. 設定パスワード変更

設定パスワードを変更できます。[設定] ボタンを押すと、すぐに反映されます。

The screenshot shows the '設定パスワード変更' (Change Password) screen. On the left is a navigation menu with options like '設定', '端末設定', 'LANポート設定', etc. The main area has a title '設定パスワード変更' and a subtitle '設定パスワードを変更します。'. Below this is a 'パスワード設定' button and a warning box: 'パスワードを忘れた場合は本製品にアクセスできなくなりますのでご注意ください。'. A table with three rows follows: '現在の設定パスワード' (Current password), '設定パスワード' (New password), and '設定パスワード(確認)' (Confirm password). Each row has an input field and a description. The first row's description is '現在設定されている設定パスワードを入力してください。'. The second row's is '新しい設定パスワードを入力してください。4桁から20桁までの数字が使用できます。'. The third row's is '確認のため、設定パスワード欄と同じパスワードを入力してください。'. At the bottom is another 'パスワード設定' button.

▼設定パスワード変更

現在の設定パスワード	現在設定されている設定パスワードを入力します。 ※ 設定パスワードの初期値は、インストールされているコンテンツセットによって異なります。不明な場合は販売元へお問い合わせください。 ※ 現在設定されている設定パスワードは表示されません。
設定パスワード	新しい設定パスワードを入力します。(半角数字 4～20 文字まで)
設定パスワード(確認)	確認のため同じ設定パスワードを入力します。



お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、Web ブラウザからの設定ではクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。

勤怠パッケージ／交通費精算パッケージ／tm交通費精算パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ
万一忘れてしまった場合は「[4.9.3. 端末初期化](#)」をご検討下さい。

その他のコンテンツセットをお使いの方へ
コンテンツセットによってはパスワードのクリア機能が用意されている場合があります。詳しくは販売元へお問い合わせください。用意されていない場合は、「[4.9.3. 端末初期化](#)」をご検討ください。

MEMO

勤怠パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ
設定パスワードは、勤怠パッケージ／登降園パッケージ管理画面の管理者パスワードとは異なります。

3.16. イベント・サポートログ

イベントログ・サポートログを取得できます。



▼サポートログ

イベントログ表示	システムで発生した各種ログが表示されます。
サポートログ取得	サポートに送るために必要なサポートログをファイルで取得します。取得したファイルは暗号化されているため、お客様が内容を参照することはできません。
サポートログ削除	サポートログを削除します。イベントログも同時に削除されます。

サポートログは、設定初期化を行っても削除されません。
また、イベントログは、ログが一定量に達すると、新しいログを記録するために古いログが削除されます。

MEMO

上記の操作を行うと、一時的にコンテンツセットのパフォーマンスに影響が出る場合があります。

3.17. 再起動・シャットダウン

再起動またはシャットダウンができます。

ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新を「する」に設定している場合は、再起動時またはシャットダウンの前に自動更新が行われます。→「[11. ファームウェア/コンテンツセットの自動更新](#)」



▼再起動・シャットダウン

再起動 [再起動] ボタンを押すと、再起動されます。ファームウェアの更新などのタイミングでは再起動できません。

シャットダウン [シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウンの後、電源が OFF になります。ファームウェアの更新中などのタイミングではシャットダウンできません。



重要

電源を OFF にするときは、Web設定ページまたは本製品の機能選択画面からシャットダウンを行ってください。動作中に AC アダプタを抜いたり、いきなり電源を OFF にすると、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、以下の動作中に電源ボタンを 10 秒以上続けて押さないでください。

- ・ファームウェア更新中
- ・コンテンツセット更新中
- ・再起動中
- ・シャットダウン中

4. 本体からの設定

一部の操作と簡易な設定は本体の液晶タッチパネルから行えます。

4.1. 設定方法

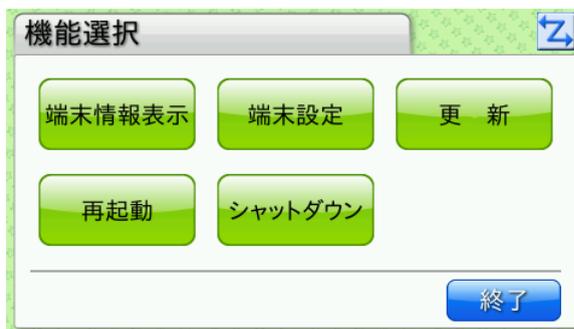
本体の液晶タッチパネルから設定するには、以下の手順で操作します。

1. 本製品の電源をONにします。
2. 本製品が利用可能状態になったら、電源ボタンを2秒以上押します。



電源ボタンを10秒以上押すと電源が強制的にOFFになります。ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、10秒以上電源ボタンを押さないでください。

3. 機能選択画面が表示されます。



以降、目的の機能のボタンを押して設定を行います。

MEMO

機能選択画面および他の画面で「終了」ボタンを押すと、コンテンツセットスタートページに戻ります。

MEMO

機能選択画面および他の画面の右上には、ネットワークの接続状態を示すアイコンが表示されます。

機能選択



未接続

ネットワークに接続していない状態です。



接続中

ネットワークに接続中の状態です。



接続中
(IP無し)

ネットワークに接続中ですが、IPアドレスが無く通信できない状態です。

MEMO

下記の状態をすべて満たす場合に、接続中の状態になります。

- ・LANケーブル、通信モジュールおよび無線LANモジュールを接続して認識している状態
- ・IPアドレス取得方法が「自動」のときにIPアドレスを取得している状態

接続中の状態でも、DNSサーバにアクセスできない、ファイアウォールで経路が遮断されている等の理由で通信できない場合があります。通信できないときは、ネットワークやルータの設定を確認してください。

ネットワーク設定など設定にパスワードが必要な画面では、以下のパスワード認証画面が表示されます。

設定パスワード認証

.....

1	2	3	⊗
4	5	6	
7	8	9	戻る
←	0	→	OK



勤怠パッケージ／交通費精算パッケージ／tm交通費精算パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ
工場出荷時に設定されている設定パスワードは「0000」です。

その他のコンテンツセットをお使いの方へ
コンテンツセットによっては初期値が異なる場合があります。不明な場合は販売店へお問い合わせください。
また、コンテンツセットによっては設定パスワード認証画面が表示されません。



お客様が設定されたパスワードは、当社では確認できない仕組みになっています。また、Webブラウザからの設定ではクリアすることはできませんので、忘れないよう十分ご注意ください。

勤怠パッケージ／交通費精算パッケージ／tm交通費精算パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ

万一忘れてしまった場合は「[4.9.3. 端末初期化](#)」をご検討ください。

その他のコンテンツセットをお使いの方へ

コンテンツセットによってはパスワードのクリア機能が用意されている場合があります。詳しくは販売元へお問い合わせください。用意されていない場合は、「[4.9.3. 端末初期化](#)」をご検討ください。

MEMO

勤怠パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ

設定パスワードは、勤怠パッケージ／登降園パッケージ管理画面の管理者パスワードとは異なります。

4.2. 端末情報表示

機能選択画面で「端末情報表示」ボタンを押すと、端末情報表示画面が表示されます。ネットワーク情報、端末情報およびHTTPプロキシ設定を確認できます。

端末情報表示画面には5つの画面があり、「◀」ボタンと「▶」ボタンで切り替えられます。

The image displays five sequential screenshots of the '端末情報表示' (Terminal Information Display) screen, each showing a different section of the device's configuration. Each screen includes a '戻る' (Back) button, a page indicator (e.g., 1/5, 2/5, 3/5, 4/5, 5/5), and a '終了' (End) button.

- Screen 1: ネットワーク情報 (IPv4)**

ネットワーク情報 (IPv4)	
インターフェース	LAN (手動)
IPv4アドレス	192.168.1.2
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	192.168.1.1
- Screen 2: ネットワーク情報 (IPv6)**

ネットワーク情報 (IPv6)	
インターフェース	LAN (自動)
IPv6アドレス	-
プレフィックス長	-
ゲートウェイアドレス	-
- Screen 3: ネットワーク情報 (DNS)**

ネットワーク情報 (DNS)	
現在使用中のDNS1	-
現在使用中のDNS2	-
現在使用中のDNS3	-
- Screen 4: 端末情報**

端末情報	
端末ID	XXXXXXXX
MACアドレス	XXXX.XXXX.XXXX
MACアドレス(無線LAN)	
ファームウェアバージョン	X.XXrXXXXX
ベンダーID	XXXXXXXX
コンテンツセットバージョン	XXXXX
- Screen 5: HTTPプロキシ設定**

HTTPプロキシ設定	
プロキシ機能	使用しない
サーバ名	
ポート番号	
認証ユーザ名	

- ※ 「端末情報」の「MACアドレス（無線LAN）」は、本製品に対応している無線LANモジュールが内部USBポートに接続されている場合にのみ表示されます。
- ※ 「ネットワーク情報」は端末情報画面を開いたときの情報が表示されます。表示中に情報が変わっても自動で表示が変わることはありません。また、ネットワークの状態が変わった直後は表示される情報が古い場合があります。
- ※ 「HTTPプロキシ設定」には認証パスワードは表示されません。

4.3. 端末設定

機能選択画面で [端末設定] ボタンを押すと、端末設定画面が表示されます。

端末設定画面には2つの画面があり、[◀] ボタンと [▶] ボタンで切り替えられます。



[ネットワーク設定] ボタン、[メンテナンス] ボタン、または [Bluetooth] ボタンを押すと、設定パスワード認証画面が表示されます。

正しい設定パスワードを入力して [OK] ボタンを押すと次の画面に遷移します。[戻る] ボタンを押すと端末設定画面に戻ります。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。

4.4. 音量設定 - 端末設定

端末設定画面で [音量設定] ボタンを押すと、音量設定画面が表示されます。音量を設定できます。



4.5. 明るさ設定 - 端末設定

端末設定画面で「明るさ設定」ボタンを押すと、明るさ設定画面が表示されます。液晶タッチパネルの画面の明るさを設定できます。



4.6. ネットワーク設定 - 端末設定

端末設定画面で [ネットワーク設定] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、ネットワーク設定画面が表示されます。目的の機能のボタンを押しして設定を行います。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



4.6.1. LANポート設定

ネットワーク設定画面で [LANポート設定] ボタンを押すと、LANポート設定画面が表示されます。LANポートに関して設定できます。



▼IPv4 アドレス設定

IPv4 アドレス取得方法	IPv4 アドレスを「自動」「手動」から選択します。固定のアドレスを使用する場合は、「手動」を選択します。
IPv4 アドレス	IPv4 アドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
プライマリDNSサーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。

セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
-----------------	---

▼IPv6 アドレス設定

IPv6 アドレス取得方法	IPv6 アドレスを「自動」「手動」から選択します。固定のアドレスを使用する場合は「手動」を選択します。
---------------	--

IPv6 アドレス	IPv6 アドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
-----------	--

プレフィックス長	IPv6 アドレスのプレフィックス長を入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
----------	---

ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
------------	---

プライマリDNSサーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
-----------------	---

セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
-----------------	---

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(IPアドレス入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すとLANポート設定画面に戻ります。
LANポート設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

4.6.2. 通信モジュール設定

ネットワーク設定画面で [通信モジュール設定] ボタンを押すと、通信モジュール設定画面が表示されます。通信モジュールに関して設定できます。

▼通信モジュール設定

通信モジュール	通信モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、常時接続になります。 通信データサイズが大きくなる場合がありますので、パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。
電話番号	接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	接続に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	接続に使用するパスワードを設定します。変更する場合は「変更する」を選択します。 ※すでにパスワードが設定されていても、入力欄には何も表示されません。
AT コマンド	通信モジュール初期化時に実行する AT コマンドを設定します。通信モジュール使用の際に指定がなければ、特に設定する必要はありません。 ※通信モジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。また、32文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33文字以上入力したりしたときは、Web設定ページから設定してください。

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(電話番号入力画面の例)

(ユーザ名入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと通信モジュール設定画面に戻ります。
通信モジュール設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

MEMO

通信モジュール設定で設定する電話番号は、通信モジュールの電話番号ではありません。
利用する通信モジュールのご契約プランの接続先電話番号になります。一般的には、「*99#」や「*99***1#」
のような形式になります。
ご不明な場合は、利用する通信モジュールのご契約先にお問い合わせください。

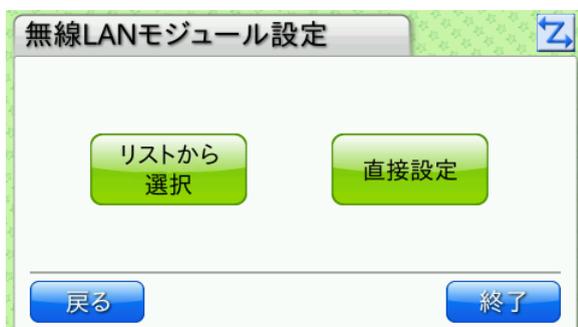
MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

4.6.3. 無線LANモジュール設定

ネットワーク設定画面で [無線LANモジュール設定] ボタンを押すと、無線LANモジュール設定（設定方法の選択）画面が表示されます。無線LANモジュールに関して設定できます。

使用可能な無線LANアクセスポイントをリストから選択して設定する場合は [リストから選択] ボタン、SSIDやIPアドレスを入力して設定する場合は [直接設定] ボタンを押して設定します。



■無線LANモジュール設定（リストから選択）

無線LANモジュール設定（設定方法の選択）画面で [リストから選択] ボタンを押すと、無線LANモジュール設定（リストから選択）画面が表示されます。



無線LANアクセスポイントが検出され、リストが表示されます。検出された無線LANアクセスポイントが1画面に収まらない場合は、[▲] ボタンと [▼] ボタンで画面を切り替えられます。
設定したい無線LANアクセスポイントがリストに表示されていない場合は、[リストを更新] ボタンを押すと無線LANアクセスポイントが再検出されます。

リストには、無線LANアクセスポイントのSSIDと認証・暗号化方式が表示されます。接続したいアクセスポイントを選択して[設定] を押してください。

・ **認証・暗号化方式が「WEP/WPAパーソナル/WPA2パーソナル」の場合**

アクセスポイントを選択して[設定] ボタンを押すと、認証キー入力画面が表示されます。

(WPA共有キー入力画面の例)



認証キーを入力後 [OK] ボタンを押すと、設定が反映され、端末設定画面に戻ります。

※認証キー入力画面では一部の記号が入力できません。また、32文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33文字以上入力したりしたいときは、Web設定ページから設定してください。

・ **認証・暗号化方式が「認証・暗号化無し」の場合**

アクセスポイントを選択して[設定] ボタンを押すと、設定が反映され、端末設定画面に戻ります。

・ **認証・暗号化方式が「未対応」の場合**

アクセスポイントが選択できません。

MEMO

ステルスモードの無線LANアクセスポイントやAny接続拒否が設定された無線LANアクセスポイントは、リストに表示されないことがあります。

MEMO

無線LANアクセスポイントをリストから選択して設定を行うと、自動的に以下のように設定されます。

- 無線LANモジュール：使用する
- IPアドレス取得方法：自動

IPアドレスの設定などを変更したい場合は、「リストから選択」ではなく「直接設定」から設定してください。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

■無線LANモジュール設定（直接設定）

無線LANモジュール設定画面（設定方法選択画面）で「直接設定」ボタンを押すと、無線LANモジュール設定（直接設定）画面が表示されます。

無線LANモジュール設定（直接設定）画面には5つの画面があり、[◀] ボタンと [▶] ボタンで切り替えられます。



The image displays five sequential screenshots of the 'Wireless LAN Module Settings (Direct Settings)' interface, numbered 1/5 to 5/5. Each screen has a title bar with a refresh icon and a page indicator.

- Screen 1/5:** Shows the 'Wireless LAN Module' status set to 'Not Used' (使用しない) and 'SSID' field. Under 'Authentication/Encryption' (認証・暗号化), 'None' (使わない) is selected, with 'WEP', 'WPA/Personal', and 'WPA2/Personal' options available.
- Screen 2/5:** Shows security options: 'WEP Key' (WEPキー) and 'WPA Shared Key' (WPA共有キー), each with a 'Change' (変更) button. A warning message states: '一部入力できない記号があります。また、WPA共有キーは32文字までしか入力できません。入力できない記号を使用したり、33文字以上入力したいときは、Web設定ページから設定してください。'
- Screen 3/5:** Shows 'IPv4 Address Acquisition Method' (IPv4アドレス取得方法) set to 'Automatic' (自動) and 'IPv4 Address' (IPv4アドレス) field.
- Screen 4/5:** Shows 'IPv6 Address Acquisition Method' (IPv6アドレス取得方法) set to 'Automatic' (自動) and 'IPv6 Address' (IPv6アドレス) field, with a 'Prefix Length' (プレフィックス長) of 64.
- Screen 5/5:** Shows 'Automatic Reconnection Function' (自動再接続機能) set to 'Not Used' (使用しない) and a descriptive text: '一定時間接続が不安定な状態が続くと、無線LANモジュールを強制リセットする機能です。接続が不安定な場合に使用してください。場合によっては逆に不安定になることもあります。'

▼無線LANモジュール設定

無線 LAN モジュール

無線 LAN モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。

SSID	無線アクセスポイントに設定されている SSID を、32 文字以内の半角英数字・記号で設定します。
認証・暗号化	認証・暗号化の方式を選択します。
使わない	認証も暗号化も使用しません。
WEP	認証方式は Open System、暗号化方式は WEP を使用します。
WPA パーソナル	認証方式は PSK(Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES(無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別)を使用します。
WPA2 パーソナル	認証方式は PSK(Pre-Shared Key)、暗号化方式は TKIP または AES(無線アクセスポイントの設定に応じて自動判別)を使用します。



WEP 暗号化で Shared Key 認証を行うことはできません。WEP を使用する場合は接続先のアクセスポイントの設定で Open System 認証を許可するように設定してください。

▼キー設定

WEP キー [認証・暗号化] で「WEP」を選択した場合に、WEP キーを設定します。変更するときは「変更する」を選択し、5 文字か 13 文字の半角英数字・記号、または 10 桁か 26 桁の 16 進数を入力します。「WEP」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、「WEP」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。
 ※無線LANモジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web設定ページから設定してください。

WPA 共有キー [認証・暗号化] で「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」を選択した場合に、WPA 共有キーを設定します。変更するときは「変更する」を選択し、8～32 文字の半角英数字・記号を入力します。「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」を選択した場合は、入力値のチェックが行われます。なお、「WPA パーソナル」「WPA2 パーソナル」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。
 ※無線LANモジュール設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。また、32文字までしか入力できません。以下の場合にはWeb設定ページから設定してください。
 ・入力できない記号を使用したり、33文字以上入力したい
 ・64桁の16進数を入力したい

▼IPv4設定 ※無線 LAN モジュールを使用する場合の IPv4 アドレス設定です

IPv4 アドレス取得方法 IPv4 アドレスを「自動」「手動」から選択します。固定のアドレスを使用する場合は、「手動」を選択します。

IPv4 アドレス IPv4 アドレスを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。

サブネットマスク サブネットマスクを入力します。[IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選

	択した場合に使用します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
プライマリDNSサーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。

▼IPv6設定 ※無線 LAN モジュールを使用する場合の IPv6 アドレス設定です

IPv6 アドレス取得方法	IPv6 アドレスを「自動」「手動」から選択します。固定のアドレスを使用する場合は「手動」を選択します。
IPv6 アドレス	IPv6 アドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
プレフィックス長	IPv6 アドレスのプレフィックス長を入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
プライマリDNSサーバアドレス	プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。
セカンダリDNSサーバアドレス	セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されません。

▼その他

自動再接続機能	一定時間接続が不安定な状態が続くと、無線LANモジュールを強制リセットする機能です。接続が不安定な場合に使用してください。場合によっては逆に不安定になることもあります。
---------	--

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(SSID入力画面の例)



(IPアドレス入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと、それぞれの設定画面に戻ります。IPアドレス設定の画面にある [設定] ボタンを押すと、無線LANモジュール設定のすべての設定が反映されます。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

4.6.4. プロキシ設定

ネットワーク設定画面で [プロキシ設定] ボタンを押すと、HTTPプロキシ設定画面が表示されます。HTTPプロキシに関して設定できます。



HTTPプロキシ設定	
プロキシ機能	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する
サーバ名	変更
ポート番号	変更
認証ユーザ名	変更
認証パスワード	変更

▼ HTTP プロキシ設定

プロキシ機能

プロキシを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、コンテンツセットや各種自動更新時に行う通信がインターフェー

スに関わらずプロキシ経由となります。

サーバ名	<p>[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのホスト名または IP アドレスを設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。</p> <p>※プロキシ設定画面から設定する場合、32文字までしか入力できません。33文字以上入力したいときは、Web設定ページから設定してください。</p>
ポート番号	<p>[プロキシ機能] で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのポート番号を設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。</p>
認証ユーザ名	<p>プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するユーザ名を設定します。</p> <p>※プロキシ設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web設定ページから設定してください。</p>
認証パスワード	<p>プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するパスワードを設定します。変更するときは「変更する」を選択します。</p> <p>※プロキシ設定画面から設定する場合、一部の記号が入力できません。入力できない記号を使用したいときは、Web設定ページから設定してください。</p>

[変更] ボタンのある項目では、[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

(サーバ名入力画面の例)



(ポート番号入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと、HTTPプロキシ設定画面に戻ります。HTTPプロキシ設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

MEMO

- ・プロキシサーバを経由してHTTPS通信(CONNECTメソッド)を行うことはできますが、プロキシサーバ自体との通信はHTTPのみでHTTPSでは接続できません。
- ・プロキシサーバとの認証は、BASIC 認証、DIGEST 認証をサポートしています。その他の認証は、サポートしていません。
- ・認証ユーザ名で「ドメイン\ユーザ名」の形式は、サポートしていません。
- ・プロキシ自動設定ファイル (PACファイル) は、サポートしていません。

MEMO

設定が反映されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

4.6.5. NTPサーバ設定

ネットワーク設定画面で [NTPサーバ設定] ボタンを押すと、NTPサーバ設定画面が表示されます。NTPサーバに関して設定できます。

NTPサーバ設定		
NTPサーバ名	ntp.jst.mfeed.ad.jp	変更
時刻修正間隔	86400	変更

戻る 設定

▼NTPサーバ設定

NTPサーバ名 NTPサーバのホスト名またはIPアドレスを入力します。この項目を設定すると、設定後または起動後にNTPサーバに接続し、時刻が設定されます。
※NTPサーバ設定画面から設定する場合、32文字までしか入力できません。
33文字以上入力したいときは、Web設定ページから設定してください。

時刻修正間隔 時刻修正間隔を秒数で指定します。

[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。

MEMO

NTPサーバによる時刻合わせが成功すると、次の時刻合わせは、時刻修正間隔で指定した秒数後になります。失敗すると、1分、3分、5分、10分、30分、60分、以降60分の間隔で時刻合わせを行います。通信モジュールや無線LANモジュールでネットワークを利用している場合、起動直後はNTPサーバに接続できないことがあります。

(NTPサーバ名入力画面の例)



入力後 [OK] ボタンを押すと、NTPサーバ設定画面に戻ります。NTPサーバ設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

4.6.6. ハートビート設定

ネットワーク設定画面で [ハートビート設定] ボタンを押すと、ハートビート設定画面が表示されます。ハートビート通信に関して設定できます。



▼ハートビート設定

ハートビート機能 ハートビート機能を使用する場合は「使用する」を選択します。

URL ハートビート機能に使用する URL を設定します。

通信間隔 ハートビート通信の通信間隔を秒数で指定します。

[変更] ボタンを押すと入力画面が表示され、値を入力できます。ハートビート設定画面で [設定] ボタンを押すと、設定が反映されます。

4.7. 時刻設定 - 端末設定

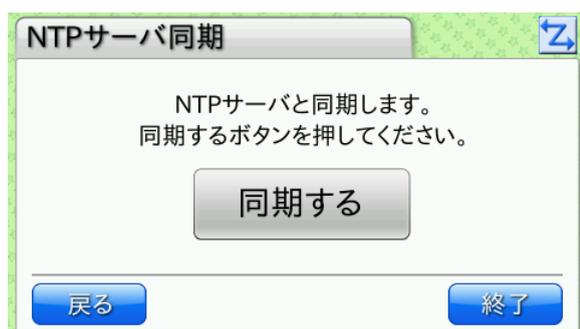
端末設定画面で [時刻設定] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、時刻設定画面が表示されます。目的の機能のボタンを押しして設定を行います。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



4.7.1. NTPサーバ同期

時刻設定画面で [NTPサーバ同期] ボタンを押すと、NTPサーバ同期画面が表示されます。設定されているNTPサーバに接続して、時刻合わせを行います。



4.7.2. 手動設定

時刻設定画面で [手動設定] ボタンを押すと、時刻手動設定画面が表示されます。年月日時分秒を入力して、時刻合わせを行います。年月日時分秒は、上下ボタンを押して入力します。



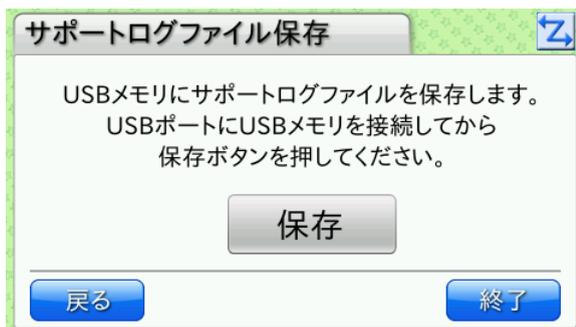
4.8. ログ - 端末設定

端末設定画面で [ログ] ボタンを押すと、ログ画面が表示されます。



4.8.1. サポートログ(USB)

ログ画面で [サポートログ(USB)] ボタンを押すと、サポートログファイル保存画面が表示されます。USBポートにUSBメモリを挿入し、 [保存] ボタンを押すと、USBメモリにサポートログファイルを保存します。



MEMO

USBメモリのルートフォルダにサポートログファイルが保存されます。
ファイル名は「supportlog_[端末ID]_[YYYYMMDD]_[HHMMSS].bin」になります。
日付、時刻は、端末に設定されている時刻情報になります。
サポートログファイルは暗号化されているため、お客様が内容を参照することはできません。弊社サポートで解析するためのログになります。

4.8.2. サポートログ(Bluetooth)

ログ画面で [サポートログ(Bluetooth)] ボタンを押すと、ログ取得とBluetooth設定を開く選択画面が表示されます。 [ログ取得] を押すと、Bluetooth接続待ち画面が表示されます。専用のスマートフォンアプリから接続しサポートログをスマートフォンに保存できます。 [Bluetooth設定を開く] を押すと、端末設定のBluetooth画面が開きます。



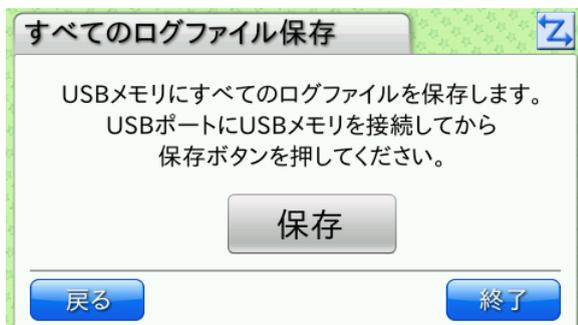
Bluetoothでのログ取得に関しては「[10. Bluetoothによるサポートログ取得](#)」を参照してください。

4.8.3. すべてのログ(USB)

ログ保存画面で「すべてのログ」ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、すべてのログファイル保存画面が表示されます。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。

USBポートにUSBメモリを挿入し、「保存」ボタンを押すと、USBメモリにサポートログ、イベントログ、コンソールログの各ファイルを保存します。



MEMO

USB メモリのルートフォルダに各ログファイルが保存されます。

ファイル名は、以下になります。

サポートログ：「supportlog_[端末ID]_[YYYYMMDD]_[HHMMSS].bin」

イベントログ：「eventlog_[端末ID]_[YYYYMMDD]_[HHMMSS].txt」

コンソールログ：「consolelog_[端末ID]_[YYYYMMDD]_[HHMMSS].txt」

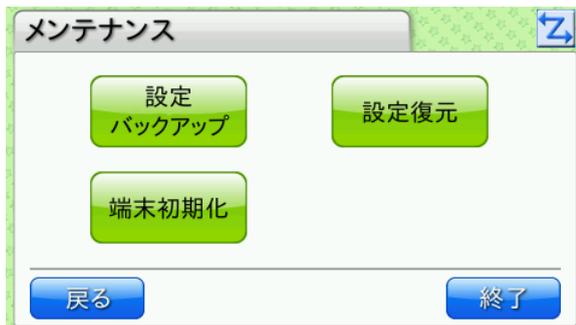
日付、時刻は、端末に設定されている時刻情報になります。

サポートログは暗号化されているため、お客様が内容を参照することはできません。弊社サポートで解析するためのログになります。

イベントログ、コンソールログは、お客様で参照することができます。

4.9. メンテナンス - 端末設定

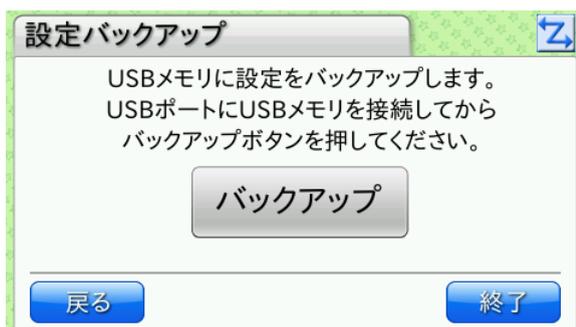
端末設定画面で [メンテナンス] ボタンを押すと、メンテナンス画面が表示されます。
USBメモリへの設定のバックアップ、USBメモリからの設定の復元、端末初期化ができます。



4.9.1. 設定バックアップ

メンテナンス画面で [設定バックアップ] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、設定バックアップ画面が表示されます。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



USBメモリに現在の設定値をバックアップする場合は、USBポートにUSBメモリを接続し、 [バックアップ] ボタンを押します。

バックアップファイルがUSBメモリに保存されます。

以下の設定がバックアップされます。

- 「[5.2. 設定値一覧](#)」のすべての設定
- NFC Type-B設定
- プロバイダ設定ファイル



重要

以下の設定および情報はバックアップされません。

- ・コンテンツセット自体
- ・コンテンツセットのデータベース
- ・Bluetoothのペアリング情報
- ・コンソールログ／イベントログ
- ・ファームウェア更新確認サーバ URL
- ・コンテンツセット更新確認サーバ URL
- ・ [パスワード付きコンテンツセット機能] の有効設定

勤怠パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ
検出ログ、カード登録情報はバックアップされません。



重要

バックアップファイルは変更しないでください。設定を復元できなくなります。

MEMO

バックアップファイルはUSBメモリ内のルートフォルダにファイル名「PitTouchPro3.set」として保存されます。すでに同名のファイルが存在する場合は上書きします。
また、バックアップファイルは暗号化されているため、お客様が内容を参照することはできません。



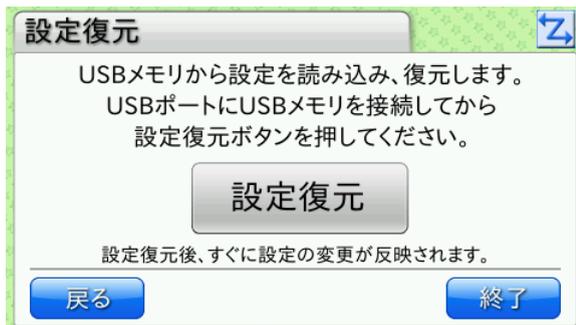
重要

バックアップ時のコンテンツセットやコンテンツセットのバージョンと異なるものに復元した場合、正しく動作しない場合があります。

4.9.2. 設定復元

メンテナンス画面で [設定復元] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、設定復元画面が表示されます。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



USBメモリから設定値を読み込んで本製品に復元する場合は、バックアップファイルを保存したUSBメモリをUSBポートに接続し、 [設定復元] ボタンを押します。



バックアップファイルは変更しないでください。設定を復元できなくなります。

4.9.3. 端末初期化

すべての設定やデータを削除して工場出荷状態にします。

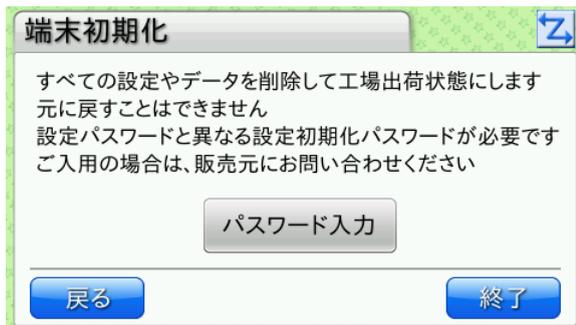
端末初期化を行うには、設定パスワードとは別の端末初期化パスワードが必要です。

端末初期化パスワードは、端末ごとに異なります。用途に応じて端末初期化パスワードを発行いたします。製品シリアル番号、用途とともに販売元にお問い合わせください。

端末初期化は、以下の用途でご利用いただけます。

- 1) すべての設定を初期化したい
 - 2) すべての設定を初期化して、コンテンツセットを削除し別のコンテンツセットをインストールしたい
 - 3) すべての設定を初期化して、コンテンツセットを削除しCTSパッケージをインストールしたい
- ※CTSパッケージとは、バージョンがCTSから始まる弊社で作成したコンテンツセットのことです。

メンテナンス画面で「端末初期化」ボタンを押すと、端末初期化画面が表示されます。初期化処理完了後は、再起動ボタンを押して再起動します。



端末初期化後は、設定を元に戻すことができません。

コンテンツセットの削除をともなう端末初期化を行う場合は、あらかじめインストールするコンテンツセットをご用意することをおすすめします。



端末初期化中に、電源ボタンを10秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源がOFFになり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、端末初期化中にACアダプタを抜かないでください。

4.10. Bluetooth - 端末設定

端末設定画面で [Bluetooth] ボタンを押すと、Bluetooth画面が表示されます。

新たにスマートフォンとのペアリングを行う場合には [ペアリング] を押してください。既に行ったペアリングの情報をすべて削除する場合は [ペアリング情報削除] を押してください。



Bluetooth機能によるサポートログ取得を行う方法については、「[10. Bluetoothによるサポートログ取得](#)」をご参照ください。

4.10.1. ペアリング

ペアリング画面では、ペアリング待ち受け状態になります。

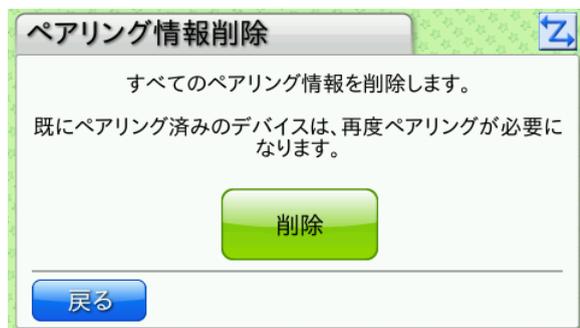


専用スマートフォンアプリから接続を行うと6桁のPINコードが表示されます。このPINコードをスマートフォン側に入力するとペアリングが完了します。



4.10.2. ペアリング情報削除

ペアリング情報を削除します。再度スマートフォンから接続する場合には、ペアリングをやり直す必要があります。



4.11. 更新

機能選択画面で [更新] ボタンを押すと、更新画面が表示されます。

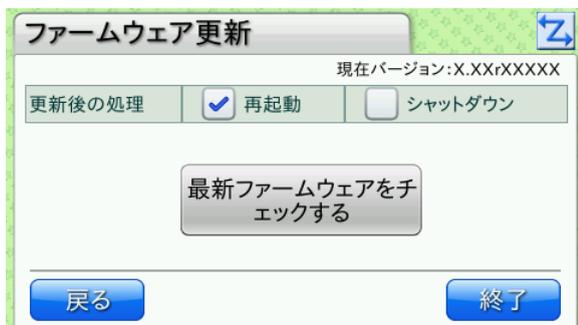


4.11.1. ファームウェア更新

更新画面で [ファームウェア更新] ボタンを押すと、ファームウェア更新画面が表示されます。



ファームウェアの更新には事前手続きが必要な場合があります。詳しくは「[11. ファームウェア/コンテンツセットの自動更新](#)」を参照してください。



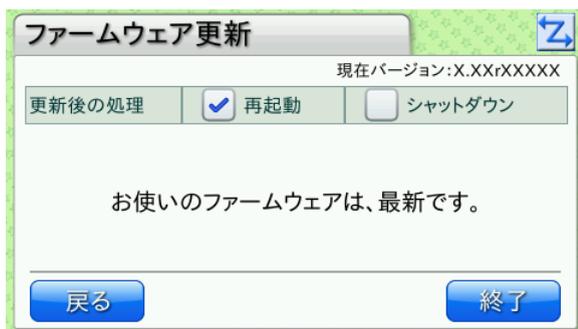
更新後の処理

ファームウェア更新が成功した後の動作を選択します。

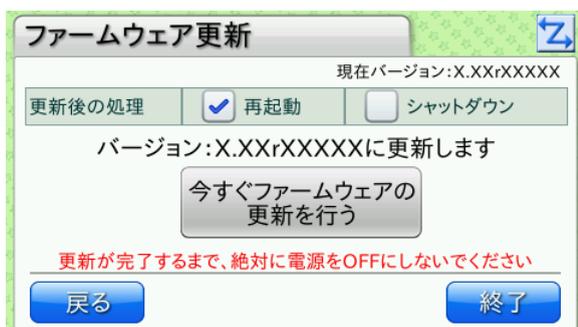
▼ファームウェアの更新確認・更新

サーバと通信してファームウェアの更新確認を行う場合は、「最新ファームウェアをチェックする」ボタンを押します。本製品は新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認します。

本製品でお客様がご利用いただけるファームウェアが最新バージョンのときは、「お使いのファームウェアは、最新です」と表示されます。



本製品内部のファームウェアより新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるときは、[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンが表示されます。



[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンを押すと、ファームウェアの更新が実行されます。ファームウェアの更新が開始されると、更新中のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。更新に成功すると、[更新後の処理] の設定内容にしたがって再起動またはシャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。



重要

ファームウェアの更新中に、電源ボタンを10秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源がOFFになり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中にACアダプタを抜かないでください。



重要

ファームウェアの更新には10～15分程度かかります。

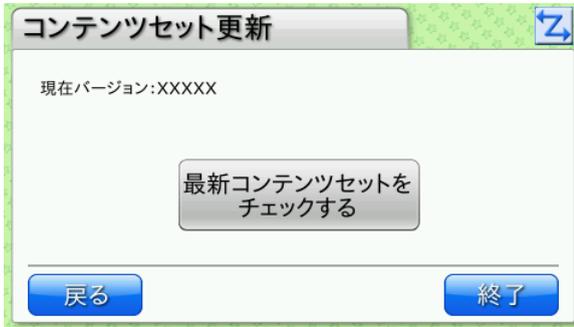
4.11.2. コンテンツセット更新

更新画面で [コンテンツセット更新] ボタンを押すと、コンテンツセット更新画面が表示されます。



重要

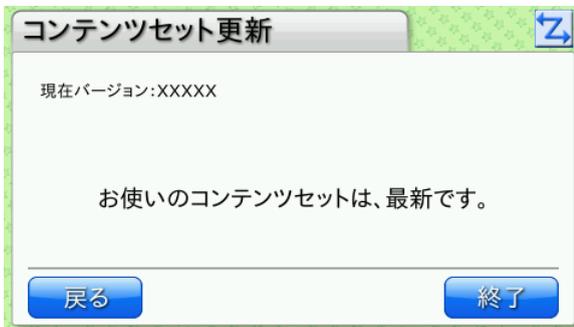
コンテンツセットの更新には事前手続きが必要な場合があります。詳しくは「[11. ファームウェア / コンテンツセットの自動更新](#)」を参照してください。



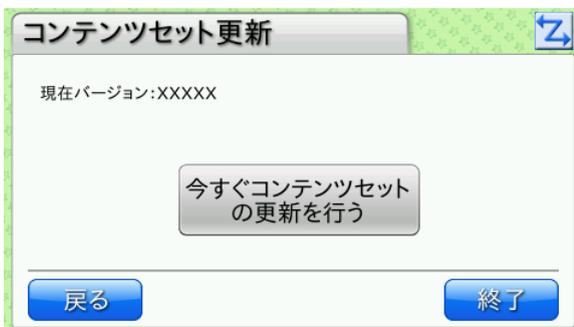
▼コンテンツセットの更新確認・更新

サーバと通信してコンテンツセットの更新確認を行う場合は、[最新コンテンツセットをチェックする] ボタンを押します。本製品は新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認します。

本製品でお客様がご利用いただけるコンテンツセットが最新バージョンのときは、「お使いのコンテンツセットは、最新です」と表示されます。



本製品内部のコンテンツセットより新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにある場合は、[今すぐコンテンツセットの更新を行う] ボタンが表示されます。



[今すぐコンテンツセットの更新を行う] ボタンを押すと、コンテンツセットの更新が行われます。コンテンツセットの更新が開始されると、本体の画面には更新中のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。コンテンツセットが不正な場合はエラーが表示されます。更新に成功すると、更新されたコンテンツセットを開始します。

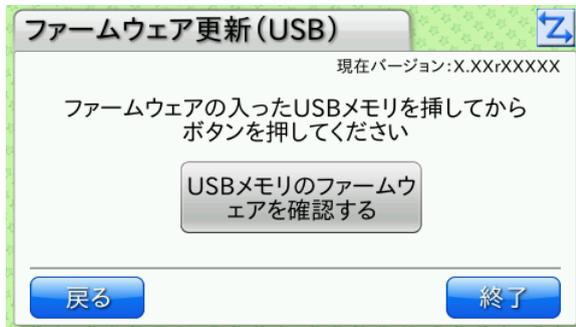


コンテンツセットの更新中に、電源ボタンを10秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源がOFFになり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中にACアダプタを抜かないでください。

4.11.3. ファームウェア更新 (USB)

更新画面で [ファームウェア更新 (USB)] ボタンを押し、設定パスワード認証画面で設定パスワードを入力すると、ファームウェア更新 (USB) 画面が表示されます。

※お使いのコンテンツセットによっては、設定パスワード認証画面は表示されません。



ファームウェアをUSBメモリから更新する場合は、USBポートにファームウェアが入っているUSBメモリを挿入し、[USBメモリのファームウェアを確認する] ボタンを押します。USBメモリ内のファームウェアを確認します。

本製品内部のファームウェアより新しいバージョンのファームウェアがUSBメモリにあるときは、[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンが表示されます。

MEMO

ファームウェアは、USBメモリのルートフォルダに配布時のままのファイル名で置いてください。ファイル名は「pro3_XXXX.pkg」のようになります。複数のファームウェアファイルがあるときは、アルファベット順で一番最後のファイル名のファイルで更新します。



[今すぐファームウェアの更新を行う] ボタンを押すと、ファームウェアの更新が実行されます。ファームウェアの更新が開始されると、更新中のメッセージが表示されます。メッセージが表示されている間は、本製品の操作はできません。また、電源ボタンを押しても反応しません。更新に成功すると指定した設定により再起動/シャットダウンが行われます。更新に失敗するとエラーメッセージが表示されます。

ファームウェアの更新によって、使用している設定値やコンテンツセットなどはクリアされません。



ファームウェアの更新中に、電源ボタンを10秒間以上続けて押さないでください。強制的に電源がOFFになり、ソフトウェアが破壊されて故障の原因になるおそれがありますので、絶対におやめください。また、更新中にACアダプタを抜かないでください。



ファームウェアの更新には10～15分程度かかります。
更新が完了するまで、USBメモリは絶対に抜かないでください。

4.11.4. 自動更新設定

更新画面で [自動更新設定] ボタンを押すと、自動更新設定画面が表示されます。

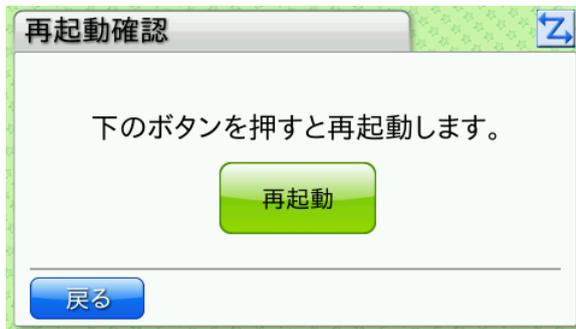
自動更新設定	
ファームウェア自動更新	<input type="checkbox"/> する <input checked="" type="checkbox"/> しない
コンテンツセット自動更新	<input type="checkbox"/> する <input checked="" type="checkbox"/> しない
<input type="button" value="戻る"/> <input type="button" value="終了"/>	

ファームウェア自動更新 「する」を選択した場合、再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。

コンテンツセット自動更新 「する」を選択した場合、再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。

4.12. 再起動

機能選択画面で [再起動] ボタンを押すと、再起動確認画面が表示されます。

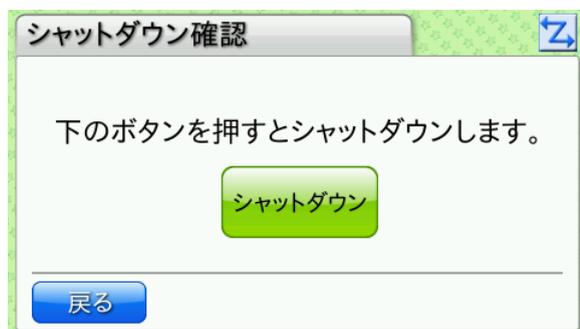


[再起動] ボタンを押すと再起動されます。

ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新を「する」に設定している場合は、再起動の前に自動更新が行われます。→「[11. ファームウェア/コンテンツセットの自動更新](#)」

4.13. シャットダウン

機能選択画面で [シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウン確認画面が表示されます。



[シャットダウン] ボタンを押すと、シャットダウン動作が行われ、電源がOFFになります。
ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新を「する」に設定している場合は、シャットダウンの前に自動更新が行われます。→ [11. ファームウェア/コンテンツセットの自動更新](#)

5. 一括設定

Web設定ページの一括設定機能を使うと、各種設定値が記載されたファイルを使って設定を一括で変更することが可能です。

5.1. ファイルの記述方法

一括設定に使うファイルのフォーマットはkey:value形式で、1行1設定です。文字コードはUTF-8 (BOM無し)です。keyとvalueのセパレータには、「:」（半角コロン）を使用します。行の先頭に「#」があると、その行はコメント行と見なされます。

▼記述例

```
#本体音量 ... 0~5
#消音に設定
sound.play.volume:0
#IPアドレス取得方法 ...0:固定IP, 1:DHCP（自動）
#DHCP（自動）に設定
network.lan.ipmode.isdhcp:1
#設定パスワード ... 4~20桁の数値
#1111に設定
settingpage.admin.password:1111
```

現在値のまま変更しない設定値は、ファイルに記述する必要はありません。記述内容に一つでも不正なものがあつた場合は設定は一切行われません。

5.2. 設定値一覧

※ 初期値は、コンテンツセットによって別の値に上書きされている場合があります。その場合、設定初期化後の値は下表の値とは違う値になります。

名前	設定ファイルでのkey	設定可能な値	初期値	内容
端末設定				
本体音量	sound.play.volume	0~5 (0:OFF)	3	本体の音量を設定します。
キーパッド操作音	keypad.buz.enable	0:OFF 1:ON	1	キーパッド(別売)の操作音のON/OFFを設定します。なおONにすると有効ではないキーが押されたときも音が鳴ります。
明るさ	lcd.backlight.brightness	1~5	3	液晶タッチパネルの画面の明るさを設定します。
LANポート設定				

名前	設定ファイルでのkey	設定可能な値	初期値	内容
IPv4 アドレス取得方法	network.lan. ipmode.isdhcp	0:手動 (固定IP) 1:自動 (DHCP)	0	IPv4 アドレスを「自動」「手動」から選択します。
IPv4 アドレス	network.lan.ipaddr	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値	192.168.1.2	IPv4 アドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv4サブネットマスク	network.lan.subnet	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値	255.255.255. 0	サブネットマスクを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv4ゲートウェイアドレス	network.lan.gateway	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値	192.168.1.1	ゲートウェイアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv4プライマリDNSサーバアドレス	network.lan.dns1	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値		プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCP サーバから取得したアドレスと合わせて使用されます。
IPv4セカンダリDNSサーバアドレス	network.lan.dns2	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値		セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCP サーバから取得したアドレスと合わせて使用されます。
IPv6 アドレス取得方法	network.lan. ipv6mode	0:手動 1:自動	1	IPv6 アドレスを「自動」「手動」から選択します。
IPv6 アドレス	network.lan.ipv6addr	IPv6アドレス(例: 2001:db8::68)		IPv6 アドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv6プレフィックス長	network.lan. ipv6prefixlen	1～128	64	IPv6 アドレスのプレフィックス長を入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv6ゲートウェイアドレス	network.lan. ipv6gateway	IPv6アドレス(例: 2001:db8::68)		ゲートウェイアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv6プライマリDNSサーバアドレス	network.lan.ipv6dns1	IPv6アドレス(例: 2001:db8::68)		プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCP サーバから取得したアドレスと合わせて使用されます。

名前	設定ファイルでのkey	設定可能な値	初期値	内容
IPv6セカンダリDNSサーバアドレス	network.lan.ipv6dns2	IPv6アドレス(例: 2001:db8::68)		セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IPv6 アドレス取得方法]が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されます。
通信モジュール設定				
通信モジュール	ppp.device.enable	0:使用しない 1:使用する	0	通信モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、常時接続になります。 通信データサイズが大きくなる場合がありますので、パケット定額制サービスへの加入を強くお勧めします。
電話番号	ppp.provider.number	32文字以内の文字列		接続先電話番号を設定します。
ユーザ名	ppp.provider.user	32文字以内の文字列		接続に使用するユーザ名を設定します。
パスワード	ppp.provider.pass	32文字以内の文字列		接続に使用するパスワードを設定します。変更する場合は「変更する」を選択します。
ATコマンド	ppp.provider.initat	ATから始まる64文字以内の文字列		通信モジュール初期化時に実行するAT コマンドを設定します。通信モジュール使用の際に指定がなければ、特に設定する必要はありません。
無線LANモジュール設定				
無線LANモジュール	wlan.device.enable	0:使用しない 1:使用する	0	無線 LAN モジュールを使用する場合は「使用する」を選択します。
SSID	wlan.device.ssid	32文字以内の文字列		無線アクセスポイントに設定されているSSIDを、32文字以内の半角英数字・記号で設定します。
認証・暗号化	wlan.security.authenc	0:使用しない 1:WEP 2:WPAパーソナル 3:WPA2パーソナル	0	認証・暗号化の方式を設定します。
WEPキー	wlan.wep.key0	5文字か13文字の文字列 または10桁か26桁の16進数		「認証・暗号化」で「WEP」を選択した場合に、WEP キーを設定します。「WEP」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。

名前	設定ファイルでのkey	設定可能な値	初期値	内容
WPA共有キー	wlan.wpap.psk	8～63文字の文字列 または64桁の16進数		「認証・暗号化」で「WPAパーソナル」「WPA2パーソナル」を選択した場合に、WPA キーを設定します。「WPAパーソナル」「WPA2パーソナル」以外を選択した場合は、この設定は使用しません。
自動再接続機能	wlan.reconnect	0:使用しない 1:使用する	0	接続が不安定な場合に使用してください。場合によっては逆に不安定になることもあります。
IPv4 アドレス取得方法	network.wlan. ipmode.isdhcp	0:手動 (固定IP) 1:自動 (DHCP)	1	IPv4 アドレスを「自動」「手動」から選択します。
IPv4 アドレス	network.wlan.ipaddr	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値		IPv4 アドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv4サブネットマスク	network.wlan.subnet	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値		サブネットマスクを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv4ゲートウェイアドレス	network.wlan. gateway	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値		ゲートウェイアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv4プライマリDNSサーバアドレス	network.wlan.dns1	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値		プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCP サーバから取得したアドレスと合わせて使用されます。
IPv4セカンダリDNSサーバアドレス	network.wlan.dns2	XXX.XXX.XXX.XXX ※XXX は 0 ～ 255 までの数値		セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。 [IPv4 アドレス取得方法] が「自動」の場合は、DHCP サーバから取得したアドレスと合わせて使用されます。
IPv6 アドレス取得方法	network.wlan. ipv6mode	0:手動 1:自動	1	IPv6 アドレスを「自動」「手動」から選択します。
IPv6 アドレス	network.wlan. ipv6addr	IPv6アドレス(例: 2001:db8::68)		IPv6 アドレスを入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv6プレフィックス長	network.wlan. ipv6prefixlen	1～128	64	IPv6 アドレスのプレフィックス長を入力します。 [IPv6 アドレス取得方法] で「手動」を選択した場合に使用します。

名前	設定ファイルでのkey	設定可能な値	初期値	内容
IPv6ゲートウェイアドレス	network.wlan. ipv6gateway	IPv6アドレス(例: 2001:db8::68)		ゲートウェイアドレスを入力します。[IPv6 アドレス取得方法]で「手動」を選択した場合に使用します。
IPv6プライマリDNSサーバアドレス	network.wlan. ipv6dns1	IPv6アドレス(例: 2001:db8::68)		プライマリ DNS サーバアドレスを入力します。[IPv6 アドレス取得方法]が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されます。
IPv6セカンダリDNSサーバアドレス	network.wlan. ipv6dns2	IPv6アドレス(例: 2001:db8::68)		セカンダリ DNS サーバアドレスを入力します。[IPv6 アドレス取得方法]が「自動」の場合は、DHCPサーバから取得したアドレスと合わせて使用されます。
HTTPプロキシ設定				
プロキシ機能	network.proxy. enable	0:使用しない 1:使用する	0	プロキシを使用する場合は「使用する」を選択します。「使用する」を選択した場合は、コンテンツセットや各種自動更新時に行う通信がインターフェースに関わらずプロキシ経由となります。
プロキシサーバ名	network.proxy. domain	128文字以内の文字列		[プロキシ機能]で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのホスト名またはIPアドレスを設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
プロキシポート番号	network.proxy.port	0~65535		[プロキシ機能]で「使用する」を選択した場合に、プロキシサーバのポート番号を設定します。「使用しない」を選択した場合は、この設定は使用しません。
認証ユーザ名	network.proxy.user	32文字以内の文字列		プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するユーザ名を設定します。
認証パスワード	network.proxy.pass	32文字以内の文字列		プロキシサーバから認証情報を要求された場合に使用するパスワードを設定します。

名前	設定ファイルでのkey	設定可能な値	初期値	内容
時刻設定				
NTPサーバ名	time.ntp.server	128文字以内の文字列	ntp.jst.mfeed.ad.jp	NTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。この項目を設定すると、設定後または起動後に NTP サーバに接続し、時刻が設定されます。
時刻修正間隔	time.ntp.maxinterval	600～86400までの数値	86400	時刻修正間隔を秒数で指定します。
ハートビート設定				
ハートビート機能	heartbeat.enable	0:使用しない 1:使用する	0	ハートビート機能を使用する場合は「使用する」を選択します。
URL	heartbeat.server	128文字以内のhttp://またはhttps://で始まる文字列		ハートビート機能に使用する URL を設定します。
通信間隔	heartbeat.interval	300～86400までの数値	600	ハートビート通信の通信間隔を秒数で指定します。
定時再起動				
再起動時刻	power.reboot	時:分 時:分@日 時:分@曜日		再起動時刻を、区切りで最大7つ指定します。オプションで日または曜日を指定できます。曜日は英大文字3文字です。 例: 12:00,16:00@SUN,23:30@5
更新設定				
ファームウェア自動更新	update.firmware.auto	0:自動更新しない 1:自動更新する	0	「する」を選択した場合、再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのファームウェアがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。
コンテンツセット自動更新	update.contents.auto	0:自動更新しない 1:自動更新する	0	「する」を選択した場合、再起動時およびシャットダウン時に新しいバージョンのコンテンツセットがサーバにあるかどうかを確認し、あれば自動的に更新します。
設定パスワード				
設定パスワード使用	config.password.check	0:使用しない 1:使用する	1	本体からの設定で設定パスワード認証画面を使用する場合は「使用する」を選択します。
設定パスワード	settingpage.admin.password	4～20桁の数値	0000	設定パスワードです。

6. プロバイダ設定ファイル

プロバイダ設定ファイル (providersetting.xml)は、コンテンツセットでの設定値や動作のカスタマイズなどに利用します。コンテンツセットによっては、プロバイダ設定ファイルの設定が必要なことがあります。

MEMO

勤怠パッケージ／交通費精算パッケージ／tm交通費精算パッケージ／登降園パッケージについては、各ユーザーマニュアルを参照してください。その他コンテンツセットをご利用の方は販売元へご確認ください。

プロバイダ設定ファイルは以下の二通りの方法で更新(上書き)できます。

1. Web設定ページから更新した場合
2. コンテンツセットを更新し、そのコンテンツセットにプロバイダ設定ファイルが含まれていた場合(プロバイダ設定ファイルが含まれない場合は以前のプロバイダ設定ファイルがそのまま残ります)

Web設定ページからプロバイダ設定ファイルを更新後反映させるには、以下の手順でコンテンツセットを再読み込みしてください。

1. 本体の電源ボタンを2秒以上押して、機能選択画面を表示させます。
2. 機能選択画面で [終了] ボタンを押します。
3. 変更した設定内容でコンテンツセットスタートページが表示されます。

MEMO

プロバイダ設定ファイルを更新すると、以前のプロバイダ設定ファイルと入れ替えが行われます。一部だけ更新することはできません

7. ネットワーク

7.1. インターフェースの優先順位

本製品では以下の3つのネットワークインターフェースを使用できます。

- LAN
- 通信モジュール
- 無線LAN

LANが接続されているときは、LANが優先して使用されます。無線LANと通信モジュールは、LANが接続されていないときのみ使用されます。



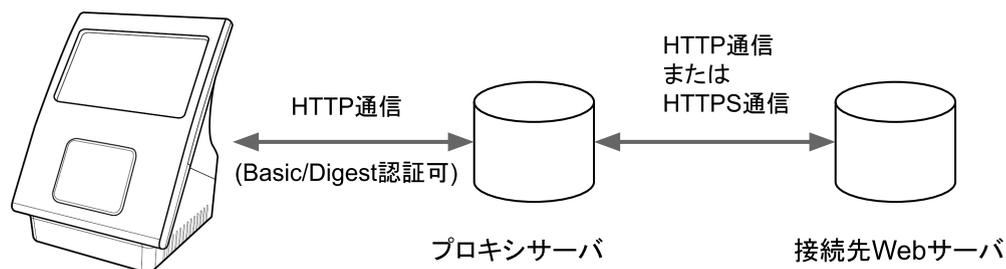
通信モジュールと無線LANモジュールが同時に挿された場合の動作は動作保証外です。また、2つ以上の通信モジュールや2つ以上の無線LANモジュールが挿された場合の動作も動作保証外です。

7.2. プロキシ

プロキシ設定は、本製品の以下の通信に適用されます。

- コンテンツセットでの外部サーバとの通信
- ハートビート通信
- ファームウェアとコンテンツセットの更新確認、更新のダウンロード

NTPによる時刻合わせ通信はプロキシは使用されません。



プロキシサーバとはHTTP通信のみ可能でHTTPS通信を行うことはできません(接続先のWebサーバとHTTPS通信を行うことは可能です)。

プロキシサーバにはHTTP認証をかけることができ、BasicまたはDigest認証を行うことができます。接続先のサーバでのHTTP認証を行うことはできません。

7.3. 使用されるDNSの優先順位

DNSサーバは、自動で取得したアドレスが優先して使用されます。優先順位は以下の通りです。

1. DHCPv4から取得したDNS
2. IPv4で手動指定したDNS
3. DHCPv6から取得したDNS

4. IPv6で手動指定したDNS

7.4. IPv4とIPv6の混在環境

IPv4とIPv6の混在環境で、本体に両方の設定が行われている場合、ネットワークへの接続は以下のように行われます。

1. IPv6での接続開始
2. 数百ms以内に接続完了しなければIPv4でも接続開始
3. どちらか先に接続した方を使う

IPv6が多少優先されますが、状況によってはIPv4で接続する場合があります。

NTPによる時刻合わせは上記とは動作が異なり、NTPサーバにIPv4とIPv6どちらのアドレスもある場合は、両方のアドレスにリクエストを送信します。

8. USB

本製品には、2つのUSBポートがあります。背面カバー内にある内部USBポートと、背面にあるUSBポートです。詳しくは付属の取扱説明書を参照してください。



重要

本製品のUSBポートと内部USBポート、または、USBハブなどを使用して同じ種類のUSB機器を接続しないでください。例えば、以下の組み合わせで接続した場合、正常に動作しない場合があります。

- 無線LANモジュールと通信モジュールの組み合わせ
- USBメモリとUSBメモリの組み合わせ
- レシートプリンタとレシートプリンタの組み合わせなど

8.1. 内部USBポート

内部USBポートは、主にUSB型の通信モジュールまたは無線LANモジュールを接続します。内部USBポートは、USB機器を本製品に格納して背面カバーで覆うことができますので、チリ・ホコリの防止や盗難防止に便利です。

8.1.1. 接続可否検証済の通信モジュール

現在弊社環境で接続可否検証済のUSB型通信モジュールは、以下のとおりです。

- ソフトバンク社製 604HW (※1)、A002ZT (※1)
- 富士ソフト社製 FS040U (※1)
- ネクス社製 UX302NC-R (※2)

※最新の動作確認済の無線LANモジュールは、[弊社Webページ](#)でご確認ください。

※上記は弊社環境で接続可否の検証を行った通信モジュールであり、動作の保証をするものではありません。

ご利用にあたっては、お客様で動作することをご確認の上でご利用下さい。

上記のUSB型通信モジュールは、あらかじめ本体の液晶タッチパネルまたはWeb設定ページにて通信モジュール設定を行ってからご利用ください。

※1 本製品に接続する前に通信モジュールをパソコンなどに接続してモデムモード（RASモード）への切り替えを行って下さい。モデムモード（RASモード）以外では、接続できません。切り替え方法については、通信モジュールのマニュアル等を参照するか、メーカーへお問い合わせください。

※2 UX302NC-Rを本製品で動作するには、以下の設定が必要です。

- UX302NC-RをWindows機に接続し、「UX302NC Data Connection Manager」をインストールします。
- UX302NC Data Connection ManagerからUX302NC-Rに以下の設定を行います。
 - 接続タイプ > 接続方式（モデムモード）：RAS(Modem)
 - 本体情報・設定 > インストールモード：無効

なお、UX302NC-RやUX302NC Data Connection Managerの操作については、メーカーへお問い合わせください。



通信モジュールによっては、通信モジュール設定の「ATコマンド」を設定しないと動作しない場合があります。

- 通信モジュールに接続先 (APN) 設定がある場合
ATコマンド：AT
- 通信モジュールに接続先 (APN) 設定がない場合
APN登録を行う以下のATコマンドを設定します。
ATコマンド：AT+CGDCONT=[CID],"IP";"[APN名]"
[CID]：1～16、通信モジュール内に登録する接続先 (APN) を管理する番号です。
電話番号で使われます。
cid=1の電話番号は、「*99#」または「*99***1#」になります。
[APN名]：ご利用のプロバイダ契約で指定されているAPN名になります。

MEMO

プロバイダにより、無通信状態が続くと、ネットワーク接続が切断されることがあります。この場合、ハートビート機能やNTPによる時刻合わせ機能を使用し短めの間隔を設定することにより、無通信状態を回避することができます。

MEMO

LANケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、通信モジュールでの接続は行われません。



通信モジュールをご使用の場合は、ファームウェア自動更新などで通信データサイズが大きくなることがあります。LAN または無線LAN を利用して更新することを強くお勧めします。



通信モジュールによっては、初期設定が必要な場合があります。パソコンなどで初期設定を行ってからご利用ください。

8.1.2. 接続可否検証済み無線LANモジュール

現在弊社環境で接続可否検証済みのUSB型無線LANモジュールは、以下のとおりです。

- | | |
|-----------------|---|
| • アイ・オー・データ機器社製 | WNPU1167M、WN-S150UM、
WN-AC433UM |
| • エレコム社製 | WDC-867DU3S、WDC-300SU2S、
WDC-433SU2M2、WDC-150SU2M、
WDC-867DU3S2 |
| • バッファロー社製 | WI-U2-433DMS |

※最新の動作確認済みの無線LANモジュールは、[弊社Webページ](#)でご確認ください。

※上記は弊社環境で接続可否の検証を行った無線LANモジュールであり、設置環境における接続性や動作の保証をするものではありません。ご利用にあたっては、お客様で動作することをご確認の上でご利用ください。

上記のUSB型無線LANモジュールは、あらかじめ本体の液晶タッチパネルまたはWeb設定ページにて無線LANモジュール設定を行ってからご利用ください。

MEMO

LANケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、無線LANモジュールでの接続は行われません。

8.2. USBポート

USBポートは、主にESC/POS準拠USBレシートプリンタ、USBメモリおよび外部機器を接続します。

MEMO

レシートプリンタは専用のコンテンツセットでのみ使用します。

8.2.1. 動作確認済のESC/POS準拠USBレシートプリンタ

現在弊社環境で動作確認済のESC/POS準拠USBレシートプリンタは、以下のとおりです。

- シチズンシステムズ製 CT-S281

※すべてのESC/POS準拠USBレシートプリンタで動作するとは限りません。事前に検証することをお勧めします。

MEMO

本製品に接続するESC/POS準拠USBレシートプリンタは、ラスタビットイメージ印刷コマンドをサポートしている必要があります。

MEMO

レシートプリンタは、コンテンツセットがレシートプリンタに対応している場合のみ使用できます。

8.2.2. その他のUSB機器

その他のUSB機器は、以下のとおりです。

- 弊社製 キーパッド（型番：BKPD20）
- HIDクラスのキーボード、テンキー（※1）
- HIDクラスのバーコードリーダー（※1）
- USBメモリ（FAT,FAT32,exFAT）（※1、※2）

※1 すべての機器で動作するとは限りません。事前に検証することをお勧めします。

※2 指紋認証付きなどの特殊なUSBメモリは除きます。

9. ハートビート通信

ハートビート通信機能とは、本製品が監視サーバに対して定期的にHTTP/HTTPSで通信することにより本製品の通信状態を確認できる機能です。監視サーバにHTTPのGETメソッドでアクセスし、クエリとして端末IDなどの情報を通知します。

クエリや通信タイミングなど、ハートビート通信についての詳細は、販売元へお問い合わせください。

10. Bluetoothによるサポートログ取得

弊社サポートに送るために必要なサポートログを、スマートフォンのBluetooth機能と専用のスマホアプリ「ピットタッチ・プロ3アプリ」を使用して取得することができます。

本機能を使うにはスマートフォンのBluetooth機能を有効にする必要があります。有効にする方法に関しては各種スマートフォンの取扱説明書等をご参照ください。

MEMO

Web設定ページからサポートログを取得するには[3.16. イベント・サポートログ](#)を参照してください。
本体の液晶タッチパネルからUSBメモリにサポートログを保存するには[4.8.1. サポートログ\(USB\)](#)を参照してください。

MEMO

サポートログは暗号化されているため、お客様が内容を参照することはできません。弊社サポートで解析するためのログになります。

Bluetoothでサポートログを取得するには、以下の手順を行ってください。

1. ピットタッチ・プロ3アプリをインストールする
2. ピットタッチ・プロ3アプリを使い、本製品とスマートフォンのBluetoothペアリングを行う
3. ピットタッチ・プロ3アプリを使い、本製品からサポートログを取得する
4. 弊社サポートにサポートログをメールで送付する

10.1. ピットタッチ・プロ3アプリのインストール

以下のQRコードをスキャンして、アプリをインストールしてください。対応するOSのバージョンについては、[ピットタッチ・プロ3サポートページ](https://www.sstinc.co.jp/support/pittouch-pro3.html)(<https://www.sstinc.co.jp/support/pittouch-pro3.html>)でご確認いただけます。

Android用ダウンロードURL



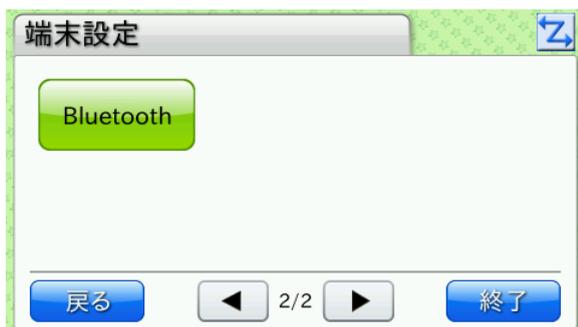
iOS用ダウンロードURL



10.2. ペアリング

本製品とスマートフォンでBluetooth通信を行うには、事前にペアリングを行う必要があります（既にペアリングを行っている場合は再度ペアリングを行う必要はありません）。

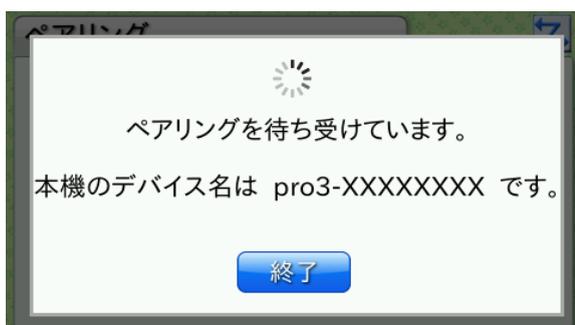
端末設定画面の2ページ目の [Bluetooth] ボタンを押します。



[ペアリング] ボタンを押します。



ペアリング待ち受け状態になります。



ピットタッチ・プロ3アプリを起動し、「ペアリング」をタップします。



本製品のデバイス名をタップします。



本製品上に6桁のPINコードが表示されます。



このPINコードをピットタッチ・プロ3アプリ側に入力するとペアリングが完了します。



10.3. サポートログの取得

スマートフォンから本製品にBluetoothで接続し、サポートログの取得を行います。まず、本製品をスマートフォンから接続可能な状態にします。

端末設定画面で [ログ] ボタンを押します。



[サポートログ(Bluetooth)] ボタンを押します。



[ログ取得] ボタンを押すと、スマートフォンから接続可能な状態になります。



ビットタッチ・プロ3アプリを開き「サポートログの取得・管理」をタップします。



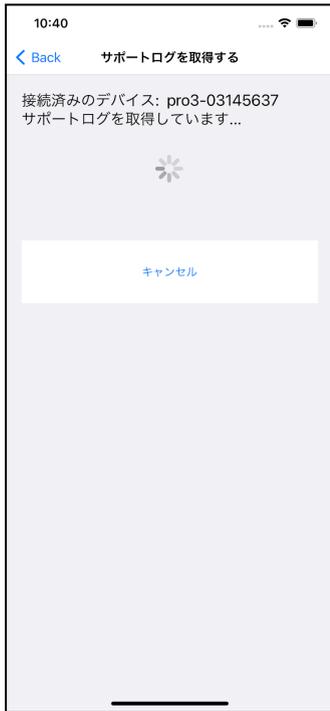
次に、「新規サポートログの取得」をタップします。



本製品のデバイス名をタップします。



サポートログの取得が始まります。



サポートログの取得が終わると、ログファイル一覧にサポートログが表示されます。



10.4. サポートログの送信

ログファイル一覧のファイル名をタップした後「送信」をタップし、メールアプリを起動します。宛先を弊社サポートにして送信します。



11. ファームウェア/コンテンツセットの自動更新

ファームウェア自動更新やコンテンツセット自動更新を「する」に設定している場合は、再起動やシャットダウンの前に自動更新処理が行われます。

処理は以下の順に行われ、いずれかのステップでエラーが発生した場合は以後のステップはスキップして再起動／シャットダウンが行われます。

1. ファームウェアの更新の有無をサーバに問い合わせ
2. サーバに更新ファイルが用意されていた場合、ダウンロードしてファームウェアを更新
3. コンテンツセットの更新の有無をサーバに問い合わせ
4. サーバに更新ファイルが用意されていた場合、ダウンロードしてコンテンツセットを更新

自動更新が「しない」の設定の場合でも、サーバへの更新の問い合わせとダウンロード、更新を手動で行うことができます。

→ [「4.11.1. ファームウェア更新」](#)

→ [「4.11.2. コンテンツセット更新」](#)



勤怠パッケージ／交通費精算パッケージ／tm交通費精算パッケージ／登降園パッケージをお使いの方へ

ファームウェア、コンテンツセット更新の実施は、事前手続きが必要です。詳細につきましては、販売元にお問合せください。

その他のコンテンツセットをお使いの方へ

ファームウェア更新やコンテンツセット更新について詳しくは、販売元へお問い合わせください。

MEMO

以下の場合の再起動／シャットダウンでは自動更新は行われません。

- Web設定ページからファームウェアファイルを使って更新を行った
- USBからファームウェア更新を行った

12. FAQ

■本体

●使用中に勝手に電源がオフになった

- ACアダプターと本体の接続状態を確認してください。
- 電源タップや電源コードがしっかり接続されているか確認してください。
- 電源タップや電源コード、ACアダプターの断線など、故障がないことを確認してください。
- コンテンツセットから電源がオフが指示されていないか、確認してください。

●画面上にリンクがなく、戻れなくなった

●液晶タッチパネルの操作ができなくなった

- 次の方法でコンテンツセットをリセットしてください。電源ボタンを2秒以上押して、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある「終了」ボタンを押すと、コンテンツセットのスタートページに戻ります。

●設定パスワードが分からなくなってしまった

- 設定パスワードを忘れた場合は、「[4.9.3. 端末初期化](#)」をご確認ください。

●時刻を設定したい

- 時刻を設定するには、NTPサーバと時刻同期する方法と手動で設定する方法があり、Webブラウザまたは、本体から行います。

- ・ Webブラウザから時刻を設定する。「[3.7. 時刻設定](#)」

- ・ 本体で時刻を設定する。「[4.7. 時刻設定 - 端末設定](#)」

■ネットワーク

●使用しているIPアドレスを知りたい

→ 本体の電源ボタンを2秒以上押して、機能選択画面を表示させます。機能選択画面にある [端末情報表示] ボタンを押すと、IPアドレスが表示されます。「未接続」と表示される場合、ネットワークに正しく接続されているか確認してください。

●Web設定ページにアクセスできない

→ ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
→ 使用しているIPアドレスを確認してください。
→ 使用しているブラウザの変更や、キャッシュのクリアを行ってください。

●NTPサーバを設定しても、時刻が設定されない

→ NTPサーバが正しく設定されているか確認してください。
・ Webブラウザから確認する。「[3.7. 時刻設定](#)」
・ 本体から確認する。「[4.6.5. NTPサーバ設定](#)」
→ ネットワークに正しく接続されているか確認してください。
→ インターネットに接続できるか確認してください。
→ ご利用のネットワークでNTPに使用するポート番号（UDP 123番）が制限されていないか確認してください。

■USB／通信モジュール

●USBメモリへの設定バックアップができない

→ USBポートにUSBメモリが接続されていますか？

→ USBメモリは書き込み可能な状態ですか？

USBメモリにライトプロテクトがかかっている場合、設定をバックアップできません。

→ USBメモリの空き容量は十分ですか？

設定バックアップは数キロバイト程度の空き容量が必要です。

→ FAT,FAT32,exFAT フォーマットのUSBメモリのみ利用できます。

→ USBメモリをUSBポートから外し、再度接続してください。

●USBメモリからの設定復元ができない

→ USBポートにUSBメモリが接続されていますか？

→ USBメモリのルートフォルダに設定ファイル「PitTouchPro3.set」がありますか？

→ 設定ファイルの内容を変更すると、設定を復元できません。

→ FAT,FAT32,exFATフォーマットのUSBメモリのみ利用できます。

→ USBメモリをUSBポートから外し、再度接続してください。

●通信モジュール、無線LANモジュールを使用して通信ができない

→ ピットタッチ・プロ3にLANケーブルを接続していませんか？

LANケーブルが接続されてリンクアップしている状態では、通信モジュール、無線LANモジュールでの接続はしません。

→ 通信モジュール、無線LANモジュールを一度外し、再び接続してください。

→ 通信モジュール、無線LANモジュールがピットタッチ・プロ3で対応している機種か確認してください。

「[8.1.1. 動作確認済の通信モジュール](#)」

「[8.1.2. 動作確認済の無線LANモジュール](#)」

→ 通信モジュール、無線LANモジュールに対応した設定が正しくできているか確認してください。

・ Webブラウザから確認する。「[3.4. 通信モジュール設定](#)」「[3.5. 無線LANモジュール設定](#)」

・ 本体から確認する。「[4.6.2. 通信モジュール設定](#)」「[4.6.3. 無線LANモジュール設定](#)」

→ 通信モジュールの一部では、モデムモードに変更する必要があります。

「[8.1.1. 動作確認済の通信モジュール](#)」

→ パソコンなどの他の対応機器に接続して、正しく動作できているか確認してください。

・無線LANモジュールの場合

→ 利用するネットワークで、端末や時間帯での接続制限や認証、ネットフィルタリングなどの利用制限がないことを確認してください。

→ 複数の無線LANを利用している環境ではありませんか？

電波干渉が発生している可能性があります。設置場所や利用する周波数帯の変更、アクセスポイントで利用するチャンネルの変更をお試しください。

→ 電波が十分に届いていない可能性があります。

無線LANアクセスポイントの見通しの良い、障害物の少ない場所に移動してご利用ください。

●端末設定からの設定で、無線LANアクセスポイントがリストに表示されない

→ ステルスモードや、Any接続拒否が設定された無線LANアクセスポイントはリストに表示されないことがあります。

リストに表示されないときは、「直接設定」でSSIDを指定して無線LANモジュール設定を行ってください。

→ 無線LANアクセスポイントの通信エリア外の可能性があります。

→ 一時的に電波が届いていない可能性があります。

[リストを更新] ボタンを押し、無線LANアクセスポイントを再検出してください。

■非接触IC

●非接触ICカードをかざしても反応しない

- 本体の非接触IC読み取り部と非接触ICカードが重なるようにかざしてください。
- 複数枚の非接触ICカードをかざしていないことを確認してください。

■更新

●ファームウェアが自動更新されない

- 新しいバージョンのファームウェアがリリースされていますか？
自動更新は、ご使用のバージョンより新しいファームウェアがある場合に行います。
- ファームウェア自動更新設定が「する」になっていますか？
再起動時またはシャットダウン時に自動的にファームウェアの更新を行うには、Web設定ページおよび本体からの設定で、ファームウェア自動更新を「する」に設定する必要があります
 - ・ Webブラウザから設定する。「[3.2. 端末設定](#)」
 - ・ 本体から設定する。「[4.11.4. 自動更新設定](#)」
- ファームウェア更新サーバが用意されていますか？
ファームウェアの自動更新を行うには、ネットワークに接続してファームウェア更新サーバにアクセスする必要があります。ファームウェア更新サーバはサービス事業者またはコンテンツセット開発者で用意する必要があります。

●コンテンツセットが自動更新されない

- 新しいバージョンのコンテンツセットがリリースされていますか？
自動更新は、ご使用のバージョンより新しいコンテンツセットがある場合に行います。
- コンテンツセット自動更新設定が「する」になっていますか？
再起動時またはシャットダウン時に自動的にコンテンツセットの更新を行うには、Web設定ページおよび本体からの設定で、コンテンツセット自動更新を「する」に設定する必要があります
 - ・ Webブラウザから設定する。「[3.2. 端末設定](#)」
 - ・ 本体から設定する。「[4.11.4. 自動更新設定](#)」
- コンテンツセット更新サーバが用意されていますか？
コンテンツセットの自動更新を行うには、ネットワークに接続してコンテンツセット更新サーバにアクセスする必要があります。コンテンツセット更新サーバはサービス事業者またはコンテンツセット開発者で用意する必要があります。

- 本書の内容の全部または一部について、無断で転載、複製、改変などを行うことは、固くお断りします。
- 本書に記載された仕様、その他の内容については、予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載された事項を元にお客様が作成したプログラム・仕様書などについて発生したいかなる損害も、当社は一切の責任を負いません。

ピットタッチ・プロ3 設定ガイド 5.13

発行日：2025年9月 第4版

発行：株式会社スマート・ソリューション・テクノロジー